

食品ロス削減及び社会貢献活動に関する
県民意識調査報告書

令和5年10月30日

(株)サーベイリサーチセンター四国事務所

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査項目	1
3. 実施概要	1
4. 報告書の見方	1
第2章 調査の結果	2
1. 回答者の属性	2
Q1 性別	2
Q2 年代.....	2
Q3 職業.....	3
Q4 婚姻状況	3
Q5 子どもの状況	4
Q6 お住まいの場所（広域市町村圏）	4
2. 食品ロス削減について	5
問1 「食品ロス」問題の認知度	5
問2 「食品ロス」を減らすために取り組んでいること	7
（★問2×問1のクロス分析）	9
問3 「賞味期限」と「消費期限」の違いの認知度	10
問4 「フードバンク活動」と「フードドライブ活動」の認知度	11
問5 フードバンク等へ食品を寄附する妨げとなっている理由	12
3. 社会貢献活動について	14
問6 ボランティア活動の関心度	14
問7 NPO法人や市民活動団体、ボランティア団体などへの加入の有無...15	
（★問7×問6のクロス分析）	16
問8 ボランティア活動の参加の有無	17
（★問8×問6のクロス分析）	18
副問1 ボランティア活動の参加の有無（令和4年内）	19
副問2 ボランティア活動の参加回数（令和4年内）	20
副問3 参加したことのあるボランティア活動の分野	21
副問4 ボランティア活動に参加した理由.....	23
副問5 ボランティア活動に参加した直接的なきっかけ	25
問9 こうちボランティアNPO・情報システム『ピッピネット』の認知度	27

問10 ボランティア活動への参加の妨げとなること	28
(★問10×問8副問1のクロス分析)	30
問11 NPOに対するイメージ(自由意見)	31
問12 社会にとってNPOは必要だと思うか	33
(★問12×問8のクロス分析)	34
副問1 NPOに求めるサービス	35
(★問12副問1×問6のクロス分析)	37
4. 寄附について	38
問13 NPOへの寄附の有無(令和4年内)	38
(★問13×問6のクロス分析)	39
(★問13×問7のクロス分析)	39
(★問13×問12のクロス分析)	40
副問1 行った寄附の内容	41
副問2 寄附をしたNPOの活動分野	43
副問3 NPOに寄附をした理由	45
問14 NPOに寄附をしやすい金額(1回あたり)	47
(★問14×問13副問1のクロス分析)	48
問15 寄附をするにあたり妨げとなること	49
(★問15×問13のクロス分析)	51
第3章 資料(アンケート調査票)	52
1. 単純集計表	52
2. 調査票	58

第1章 調査の概要

1. 調査目的

高知県では、令和4年3月に「高知県食品ロス削減推進計画」（計画期間：令和4年度～令和7年度）、平成31年3月に「第4次高知県社会貢献活動支援推進計画」（計画期間：平成31年度～令和5年度）を策定し、食品ロス削減の広報啓発や社会貢献活動に対する支援に取り組んでいます。

この調査は、社会情勢の変化に伴い、県民の皆さまの価値観や生活様式が多様化する中で、そのニーズや意識を把握し、今後の施策や取組に反映していくために実施しました。

2. 調査項目

1. ご自身のことについて
2. 食品ロス削減について
3. 社会貢献活動について
4. 寄附について

3. 実施概要

- (1) 調査対象：18歳以上の県民3,000人
- (2) 実施期間：令和5年8月1日～令和5年8月31日
- (3) 調査方法：郵送配布、郵送回収またはWEB回答
- (4) 回収数：1,512票（回収率50.4%）

4. 報告書の見方

- (1) 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の表においても反映しています。
- (2) 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) ＜第2章 調査の結果＞の表に記載されている全体の調査数と性別等の調査数の合計値について、無回答者は除いた表記としているため、必ずしも値が一致いたしません。

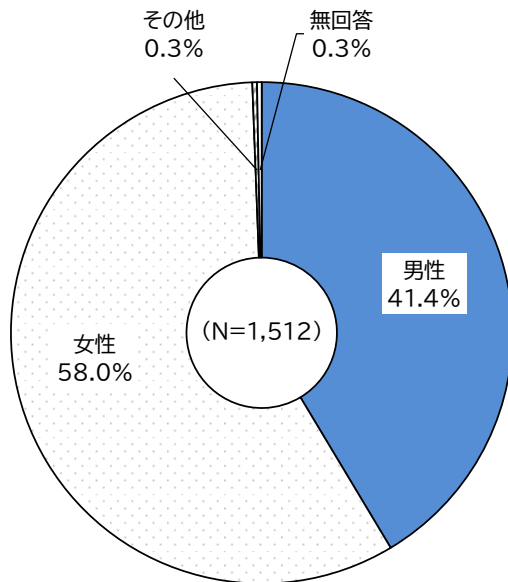
第2章 調査の結果

1. 回答者の属性

Q1 性別

性別は、「男性」(41.4%)、「女性」(58.0%)となっている。

図表 性別

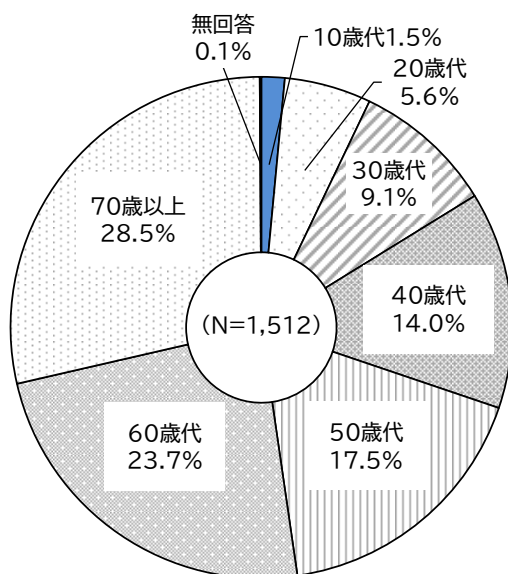


項目	回答数 (人)	構成比 (%)
男性	626	41.4
女性	877	58.0
その他	5	0.3
無回答	4	0.3
計	1,512	100.0

Q2 年代

年代は、「70歳代」(28.5%)が最も多く、次いで「60歳代」(23.7%)、「50歳代」(17.5%)となっている。

図表 年代

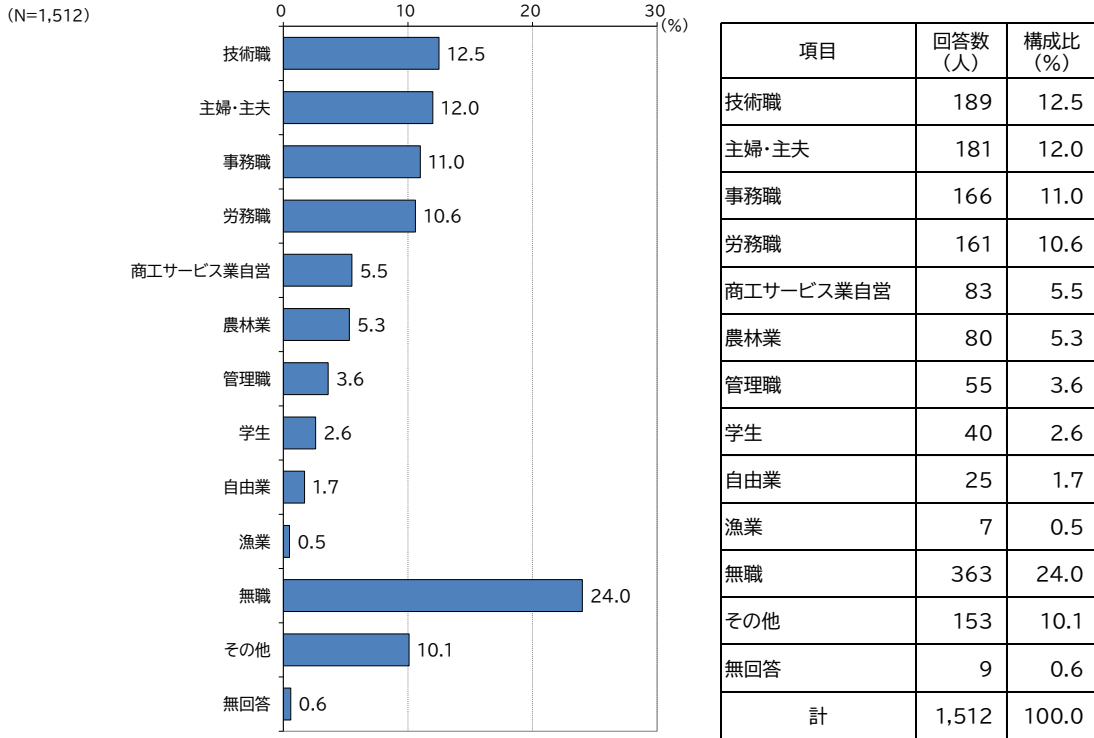


項目	回答数 (人)	構成比 (%)
10歳代	22	1.5
20歳代	84	5.6
30歳代	138	9.1
40歳代	212	14.0
50歳代	265	17.5
60歳代	358	23.7
70歳以上	431	28.5
無回答	2	0.1
計	1,512	100.0

Q3 職業

職業は、「無職」(24.0%)が最も多く、次いで「技術職」(12.5%)、「主婦・主夫」(12.0%)となっている。

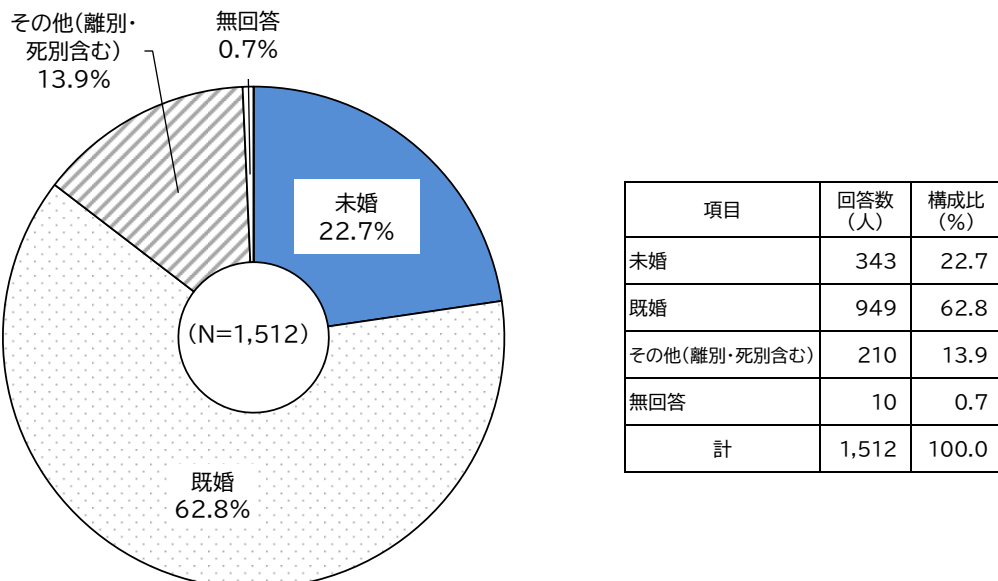
図表 職業



Q4 婚姻状況

婚姻状況は、「既婚」(62.8%)、「未婚」(22.7%)、「その他(離別・死別含む)」(13.9%)となっている。

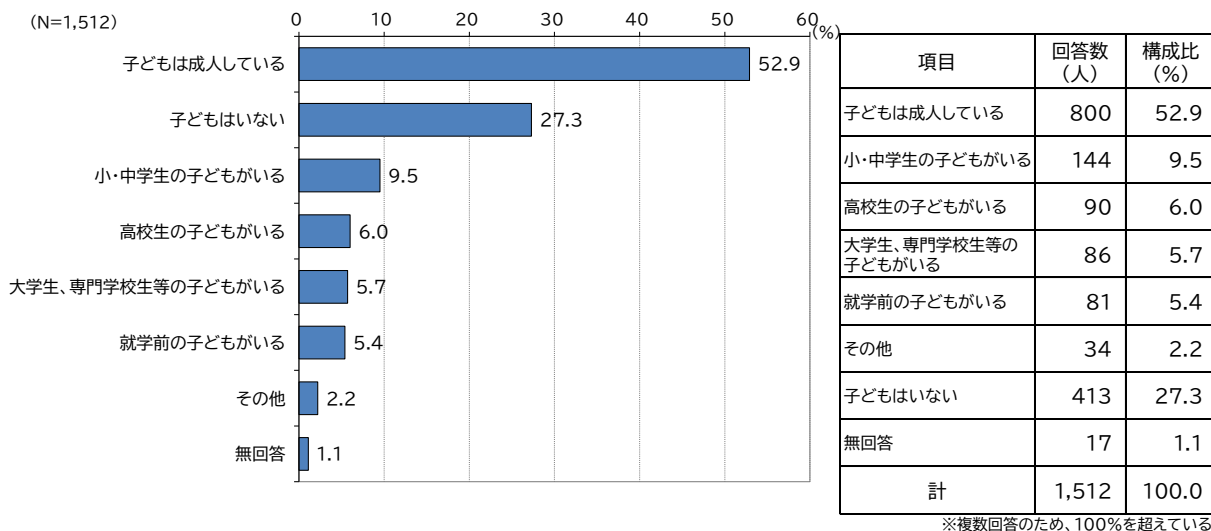
図表 婚姻状況



Q5 子どもの状況（同居・別居問わず）

子どもの状況は、「子どもは成人している」(52.9%) が最も多く、次いで「子どもはいない」(27.3%)、「小・中学生の子どもがいる」(9.5%) となっている。

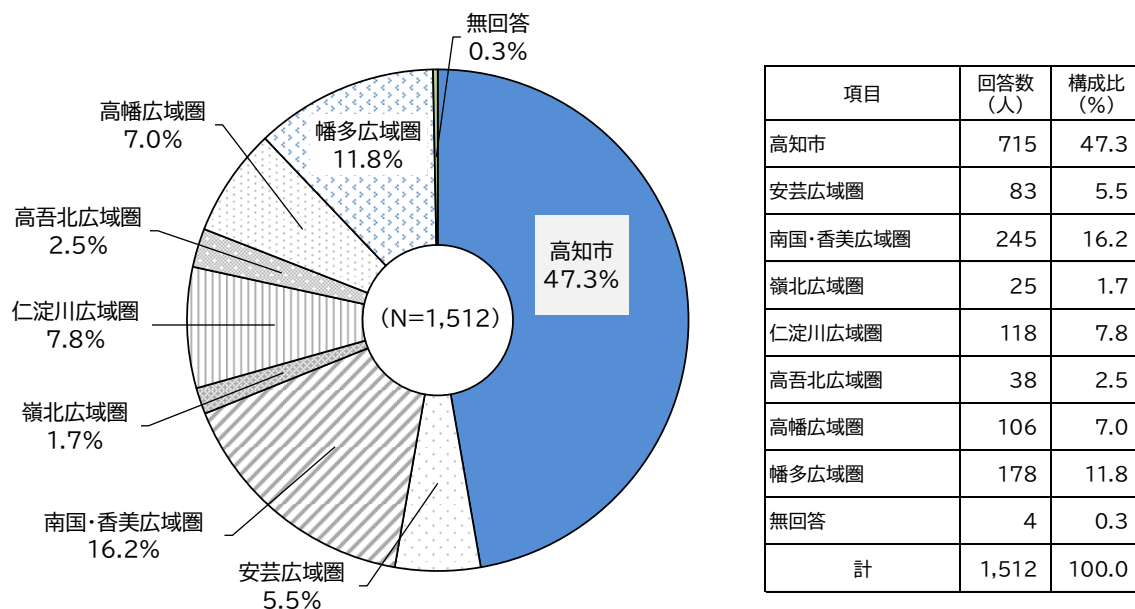
図表 子どもの状況（同居・別居問わず）



Q6 お住まいの場所（広域市町村圏）

お住まいの場所（広域市町村圏）は、「高知市」(47.3%) が最も多く、次いで「南国・香美広域圏」(16.2%)、「幡多広域圏」(11.8%) となっている。

図表 お住まいの場所（広域市町村圏）



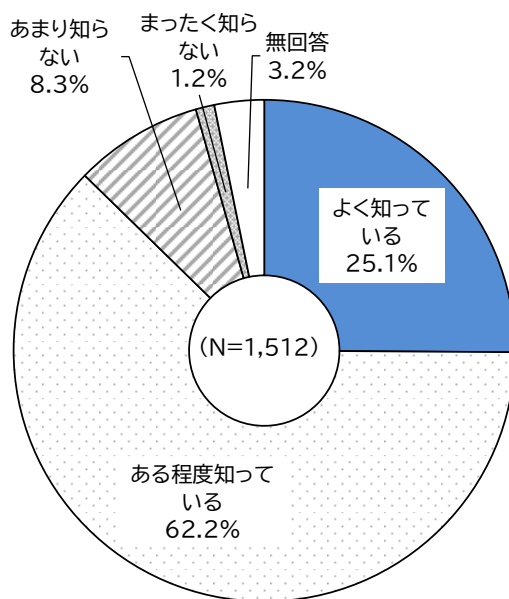
2. 食品ロス削減について

問1 「食品ロス」問題の認知度

あなたは「食品ロス」が問題になっていることを知っていますか。(1つだけ○印)

全体では、「ある程度知っている」(62.2%)が最も多く、次いで「よく知っている」(25.1%)、「あまり知らない」(8.3%)となっている。

図 「食品ロス」問題の認知度



性別にみると、「知っている」と「ある程度知っている」を合わせた【知っている】の割合は男性は84.4%、女性は89.6%で男性より女性の方が多くなっている。

年代別にみると、60歳代では【知っている】の割合は89.7%と他の年代と比べると多くなっている。

婚姻状況別にみると、既婚では【知っている】の割合は89.6%と他の婚姻状況と比べると多くなっている。

居住地別にみると、南国・香美広域圏では【知っている】の割合は91.5%と他の居住地と比べると多くなっている。

表 「食品ロス」問題の認知度

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	(1)+(2)	(3)+(4)	
		よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	まったく知らない		【知っている】	【知らない】	
全体	1,512	25.1	62.2	8.3	1.2	3.2	87.3	9.5	
性別	男性	626	25.6	58.8	10.9	1.4	3.4	84.4	12.3
	女性	877	24.9	64.7	6.4	1.0	3.1	89.6	7.4
	その他	5	20.0	60.0	-	-	20.0	80.0	0.0
年代	10歳代	22	31.8	50.0	13.6	-	4.5	81.8	13.6
	20歳代	84	29.8	58.3	9.5	1.2	1.2	88.1	10.7
	30歳代	138	19.6	66.7	8.0	4.3	1.4	86.3	12.3
	40歳代	212	20.3	68.4	8.5	1.4	1.4	88.7	9.9
	50歳代	265	24.5	63.8	9.4	0.8	1.5	88.3	10.2
	60歳代	358	26.3	63.4	7.8	0.3	2.2	89.7	8.1
	70歳以上	431	27.4	57.1	7.4	1.2	7.0	84.5	8.6
婚姻状況	未婚	343	21.0	62.7	11.4	2.6	2.3	83.7	14.0
	既婚	949	26.6	63.0	6.8	0.6	3.0	89.6	7.4
	その他(離別・死別含む)	210	24.8	58.6	9.5	1.4	5.7	83.4	10.9
お住まいの場所	高知市	715	25.2	62.2	8.0	1.7	2.9	87.4	9.7
	安芸広域圏	83	25.3	55.4	14.5	1.2	3.6	80.7	15.7
	南国・香美広域圏	245	28.6	62.9	5.7	-	2.9	91.5	5.7
	嶺北広域圏	25	12.0	72.0	16.0	-	-	84.0	16.0
	仁淀川広域圏	118	19.5	65.3	10.2	1.7	3.4	84.8	11.9
	高吾北広域圏	38	31.6	52.6	7.9	5.3	2.6	84.2	13.2
	高幡広域圏	106	23.6	63.2	6.6	-	6.6	86.8	6.6
	幡多広域圏	178	24.7	62.4	9.0	0.6	3.4	87.1	9.6

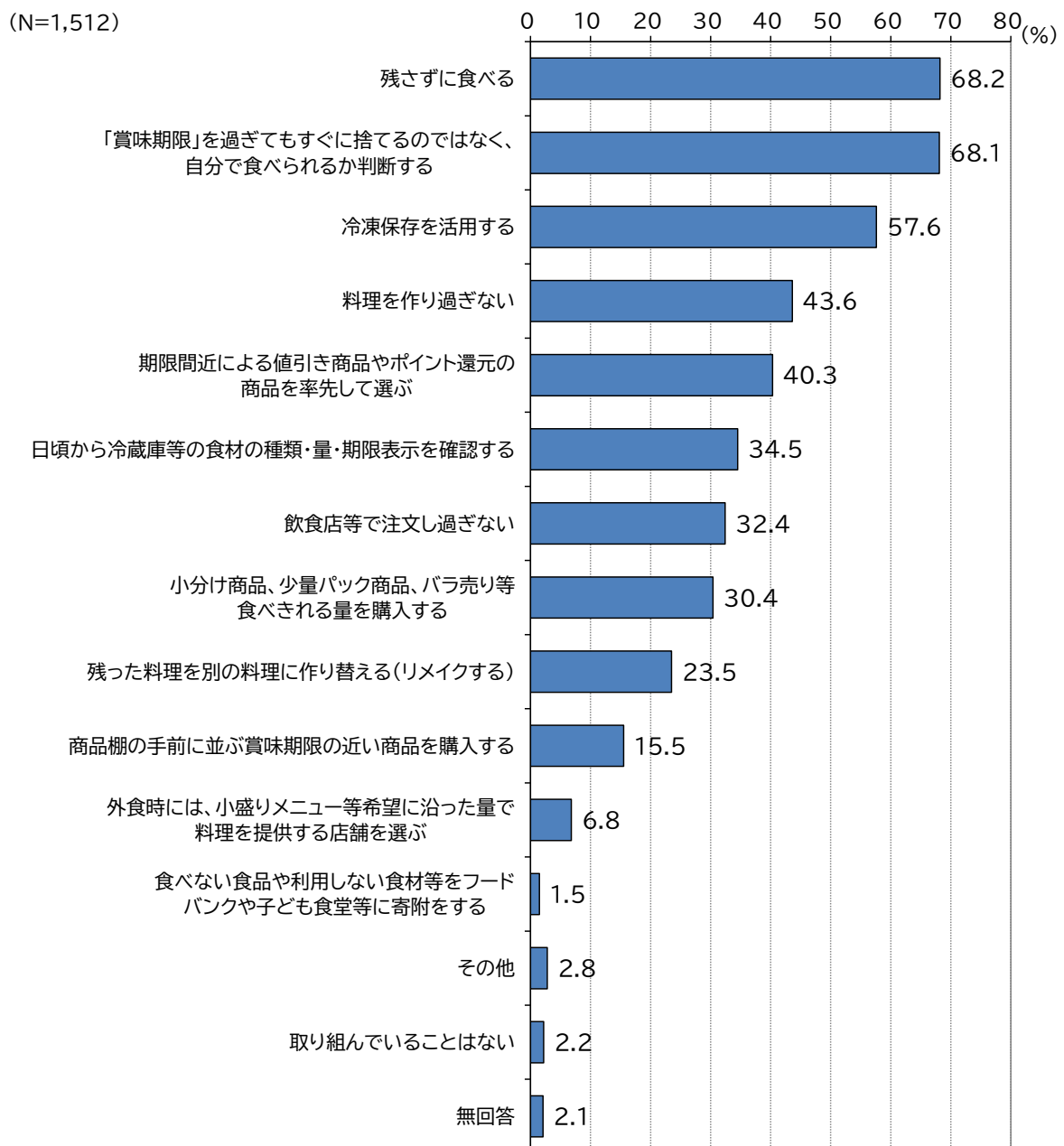
問2 「食品ロス」を減らすために取り組んでいること

あなたは、「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。(当てはまるものすべて○印)

全体では、「残さずに食べる」(68.2%)が最も多く、次いで「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」(68.1%)、「冷凍保存を活用する」(57.6%)、「料理を作り過ぎない」(43.6%)、「期間間近による値引き商品やポイント還元の商品を率先して選ぶ」(40.3%)となっている。

また、「その他」の主だった意見は、「近所の方や家族で食べ切れない食材をシェアする」、「食品ロスに取り組んでいる店で食品を買う」、「外食で残れば店の了解の上、持ち帰るようにする」などとなっている。

図 「食品ロス」を減らすために取り組んでいること



性別にみると、男性は「残さずに食べる」(74.3%)、女性は「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」(72.2%)がそれぞれ最も多くなっている。

年代別にみると、40歳代以下は「残さずに食べる」、50歳代以上では「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」がそれぞれ最も多くなっている。

婚姻状況別にみると、未婚は「残さずに食べる」(72.0%)、既婚、その他は「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地別にみると、高知市、嶺北広域圏、仁淀川広域圏、幡多広域圏は「残さずに食べる」、安芸広域圏、南国・香美広域圏、高幡広域圏は「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」がそれぞれ最も多くなっている。

表 「食品ロス」を減らすために取り組んでいること

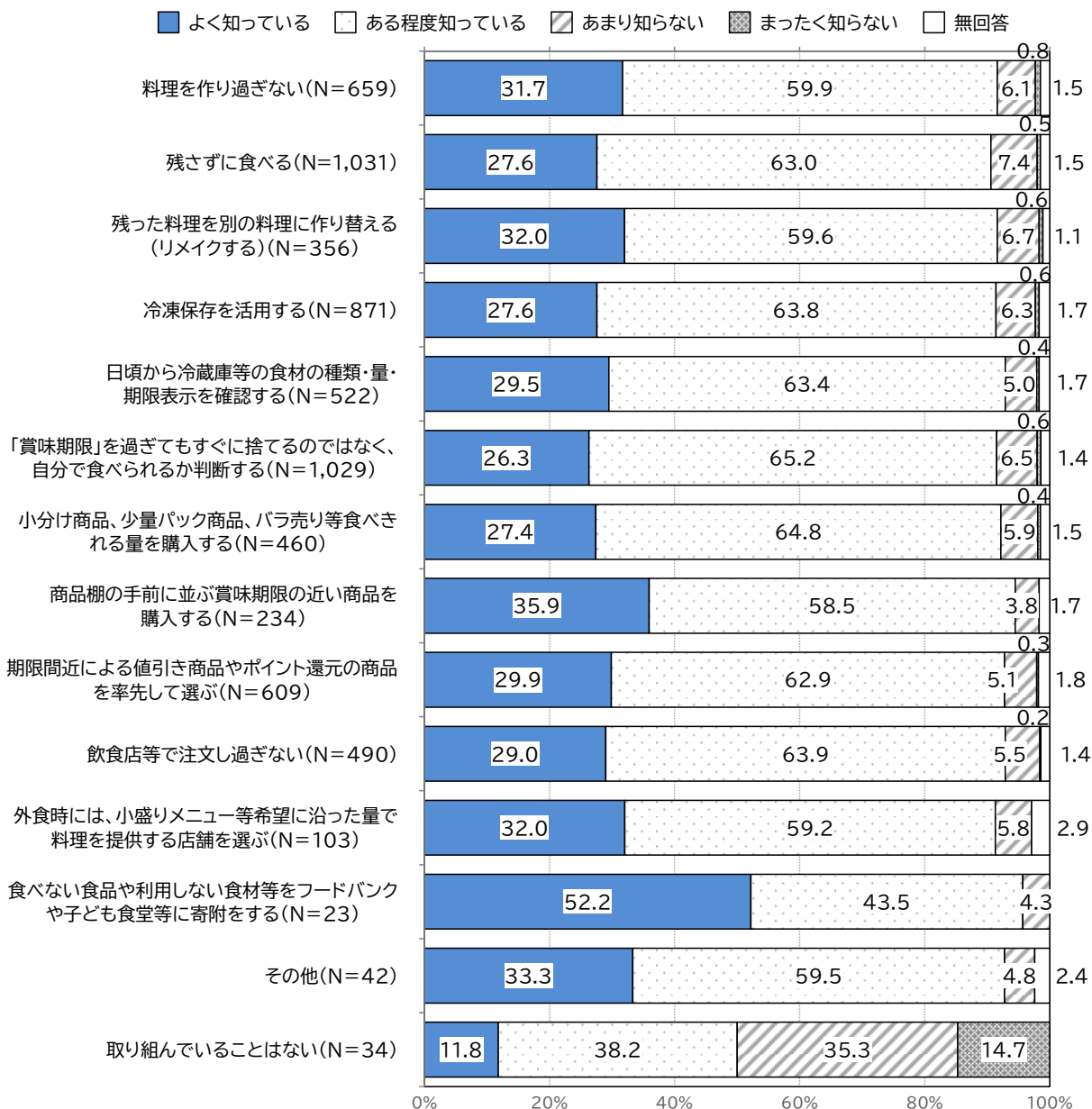
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)		
	調査数(人)	残さずに食べる	は「賞味期限」を過ぎても自分で食べられるか判断するので	冷凍保存を活用する	料理を作り過ぎない	の期限間近による値引き商品やポイント還元	表示を確認する	飲食店等で注文し過ぎない	食べきれない量を購入する	残った料理を別の料理に作り替える(リメイク)	商品棚の手前に並び賞味期限の近い商品を購入する	外食時には、小盛りメニュー等希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ	食べない食品や利用しない食材等に寄付をする	その他	取り組んでいることはない	無回答
全体	1,512	68.2	68.1	57.6	43.6	40.3	34.5	32.4	30.4	23.5	15.5	6.8	1.5	2.8	2.2	2.1
性別																
男性	626	74.3	62.3	48.4	35.9	32.3	26.4	30.5	23.5	14.4	12.0	5.1	1.3	2.4	3.4	2.2
女性	877	63.7	72.2	64.1	49.0	46.0	40.5	33.8	35.6	30.1	18.0	8.1	1.7	3.0	1.4	1.9
その他	5	80.0	80.0	80.0	60.0	60.0	20.0	20.0	-	-	20.0	-	-	20.0	20.0	-
年代																
10歳代	22	77.3	45.5	63.6	27.3	27.3	36.4	27.3	18.2	4.5	22.7	-	-	-	-	-
20歳代	84	81.0	56.0	60.7	32.1	39.3	29.8	40.5	28.6	21.4	23.8	7.1	2.4	3.6	3.6	-
30歳代	138	73.9	68.1	56.5	35.5	42.8	29.7	34.8	31.9	21.0	19.6	1.4	1.4	3.6	2.9	0.7
40歳代	212	75.5	67.0	56.6	36.8	37.7	26.4	33.5	26.9	26.4	20.3	6.1	0.5	1.4	2.8	0.9
50歳代	265	71.7	73.2	60.4	43.4	47.5	34.0	31.3	28.7	27.5	19.2	4.9	1.1	2.3	1.9	0.8
60歳代	358	65.4	69.0	59.2	49.2	38.5	36.0	31.0	31.0	22.3	10.1	8.1	2.2	2.8	2.0	1.7
70歳以上	431	60.1	68.4	54.5	48.0	38.7	40.1	31.8	33.4	23.0	12.1	9.3	1.6	3.5	2.1	4.6
婚姻状況																
未婚	343	72.0	58.6	50.7	37.0	36.4	29.4	32.1	30.3	16.9	19.5	4.1	0.9	2.3	4.1	0.9
既婚	949	68.2	71.8	59.5	43.9	41.6	35.1	33.4	28.1	26.0	14.9	7.2	1.6	3.3	1.8	1.9
その他	210	62.4	68.1	60.5	52.4	41.0	39.5	30.0	40.0	22.9	12.4	10.0	2.4	1.4	1.4	4.3
お住まいの場所																
高知市	715	69.8	68.5	59.9	44.3	40.4	35.1	35.1	33.7	23.6	17.8	7.4	1.5	2.8	2.1	2.1
安芸広域圏	83	56.6	68.7	65.1	41.0	30.1	30.1	30.1	26.5	26.5	8.4	4.8	-	3.6	3.6	1.2
南国・香美広域圏	245	70.2	70.6	56.7	45.3	43.3	33.9	34.7	27.8	24.9	13.1	5.3	2.4	4.5	1.2	1.2
嶺北広域圏	25	76.0	72.0	56.0	48.0	40.0	16.0	40.0	24.0	32.0	12.0	16.0	8.0	-	4.0	-
仁淀川広域圏	118	66.9	64.4	45.8	42.4	45.8	35.6	28.0	29.7	23.7	18.6	6.8	1.7	2.5	3.4	0.8
高吾北広域圏	38	63.2	63.2	47.4	34.2	26.3	26.3	26.3	21.1	15.8	10.5	-	-	2.6	5.3	5.3
高幡広域圏	106	60.4	68.9	51.9	47.2	36.8	39.6	28.3	27.4	19.8	13.2	6.6	1.9	2.8	2.8	3.8
幡多広域圏	178	69.7	65.2	60.1	40.4	42.1	36.5	25.8	28.1	23.0	14.0	7.9	-	0.6	1.7	2.2

(★問2×問1のクロス分析)

「食品ロス」問題の認知度との関係を見ると、「食品ロス」問題について「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた【知っている】では「食べない食品や利用しない食材等をフードバンクや子ども食堂等に寄附をする」(95.7%)が最も多くなっている。

一方で、「あまり知らない」と「まったく知らない」を合わせた【知らない】では「取り組んでいることはない」(50.0%)が最も多くなっている。

図 「食品ロス」を減らすために取り組んでいること - 「食品ロス」問題の認知度との関係 -



問3 「賞味期限」と「消費期限」の違いの認知度

あなたは、賞味期限と消費期限の違いを知っていましたか。(当てはまるもの1つに○印)

全体では、「知っていた」(81.9%)が最も多く、次いで「言葉は知っていたが違いは知らなかった」(13.6%)、「知らなかった」(2.0%)となっている。

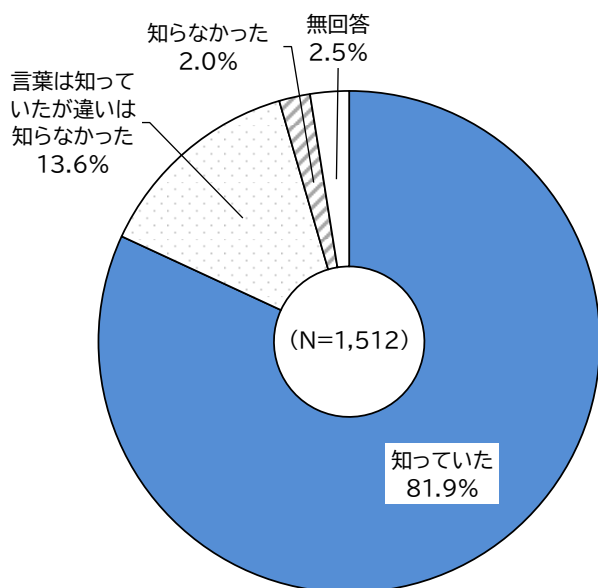
性別にみるとすべての性別で「知っていた」が最も多くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「知っていた」が最も多くなっており、特に20歳代、30歳代では9割以上となっており、年代が上がるにつれて認知度は低くなっている。

婚姻状況別にみると、すべての婚姻状況で「知っていた」が最も多くなっている。

居住地別にみると、すべての居住地域で「知っていた」が最も多くなっている。

図表 「賞味期限」と「消費期限」の違いの認知度



		(1)	(2)	(3)		
【表の見方】		調査数(人)	知っていた	言葉は知っていたが違いは知らなかったが	知らなかった	
比率(%)					無回答	
網掛け=						
		1位	2位			
全体		1,512	81.9	13.6	2.0	2.5
性別	男性	626	79.7	15.3	2.4	2.6
	女性	877	83.5	12.4	1.6	2.5
	その他	5	100.0	-	-	-
年代	10歳代	22	86.4	4.5	4.5	4.5
	20歳代	84	91.7	7.1	1.2	-
	30歳代	138	91.3	8.0	-	0.7
	40歳代	212	88.7	8.5	1.4	1.4
	50歳代	265	87.9	9.8	1.5	0.8
	60歳代	358	81.0	15.9	2.0	1.1
	70歳以上	431	71.0	20.0	3.0	6.0
婚姻状況	未婚	343	83.4	13.4	2.0	1.2
	既婚	949	82.8	13.2	1.6	2.4
	その他	210	76.7	15.7	2.9	4.8
お住まいの場所	高知市	715	82.8	12.9	1.7	2.7
	安芸広域圏	83	79.5	14.5	4.8	1.2
	南国・香美広域圏	245	83.3	13.5	1.6	1.6
	嶺北広域圏	25	76.0	24.0	-	-
	仁淀川広域圏	118	85.6	11.0	1.7	1.7
	高吾北広域圏	38	86.8	7.9	2.6	2.6
	高幡広域圏	106	75.5	15.1	3.8	5.7
	幡多広域圏	178	79.8	16.3	1.1	2.8

問4 「フードバンク活動」と「フードドライブ活動」の認知度

あなたは、「フードバンク活動」や「フードドライブ活動」を知っていましたか。(当てはまるもの1つに○印)

全体では、「フードバンク、フードドライブともに知らなかった」(42.8%)、「フードバンクは知っていたが、フードドライブは知らなかった」(36.5%)、「フードバンク、フードドライブともに知っていた」(13.6%)となっている。

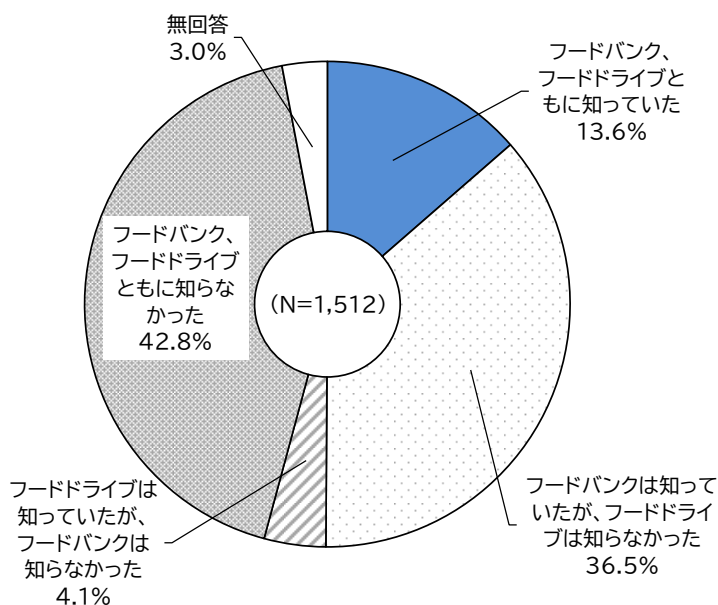
性別にみると、男性は「フードバンク、フードドライブともに知らなかった」(49.7%)、女性は「フードバンクは知っていたが、フードドライブは知らなかった」(38.7%)がそれぞれ最も多くなっている。

年代別にみると、40歳代以下、70歳以上は「フードバンク、フードドライブともに知らなかった」、50歳代、60歳代は「フードバンクは知っていたが、フードドライブは知らなかった」がそれぞれ最も多くなっている。

婚姻状況別にみると、すべての婚姻状況で「フードバンク、フードドライブともに知らなかった」が最も多くなっている。

居住地別にみると、南国・香美広域、仁淀川広域圏を除くすべての居住地で「フードバンク、フードドライブともに知らなかった」が最も多く、南国・香美広域、仁淀川広域圏は「フードバンクは知っていたが、フードドライブは知らなかった」が最も多くなっている。

図表 「フードバンク活動」と「フードドライブ活動」の認知度



【表の見方】	調査数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答
		にフードバンクを知っていたが、フードドライブとも	フードドライブは知らなかったが、フードバンクは知らなかった	フードドライブは知らなかったが、フードバンクは知らなかった	にフードバンク、フードドライブともに知っていた	
比率(%) 網掛け=						
		1位	2位			
全体	1,512	13.6	36.5	4.1	42.8	3.0
性別						
男性	626	11.3	33.4	2.7	49.7	2.9
女性	877	15.3	38.7	5.0	38.1	3.0
その他	5	-	40.0	20.0	40.0	-
年代						
10歳代	22	-	22.7	-	77.3	-
20歳代	84	11.9	25.0	6.0	57.1	-
30歳代	138	15.9	30.4	7.2	45.7	0.7
40歳代	212	16.0	36.3	3.3	42.5	1.9
50歳代	265	12.8	41.5	5.7	38.9	1.1
60歳代	358	13.7	43.3	3.1	38.5	1.4
70歳以上	431	13.0	32.9	3.2	43.4	7.4
婚姻状況						
未婚	343	12.8	33.2	3.2	49.6	1.2
既婚	949	14.0	39.5	4.0	39.8	2.6
その他	210	13.3	28.6	5.7	44.8	7.6
お住まいの場所						
高知市	715	13.0	35.8	4.9	42.9	3.4
安芸広域圏	83	8.4	36.1	-	54.2	1.2
南国・香美広域圏	245	14.7	41.2	2.0	39.6	2.4
嶺北広域圏	25	20.0	16.0	-	64.0	-
仁淀川広域圏	118	13.6	46.6	5.9	33.1	0.8
高吾北広域圏	38	7.9	39.5	-	50.0	2.6
高幡広域圏	106	16.0	29.2	3.8	44.3	6.6
幡多広域圏	178	15.7	33.7	6.2	41.6	2.8

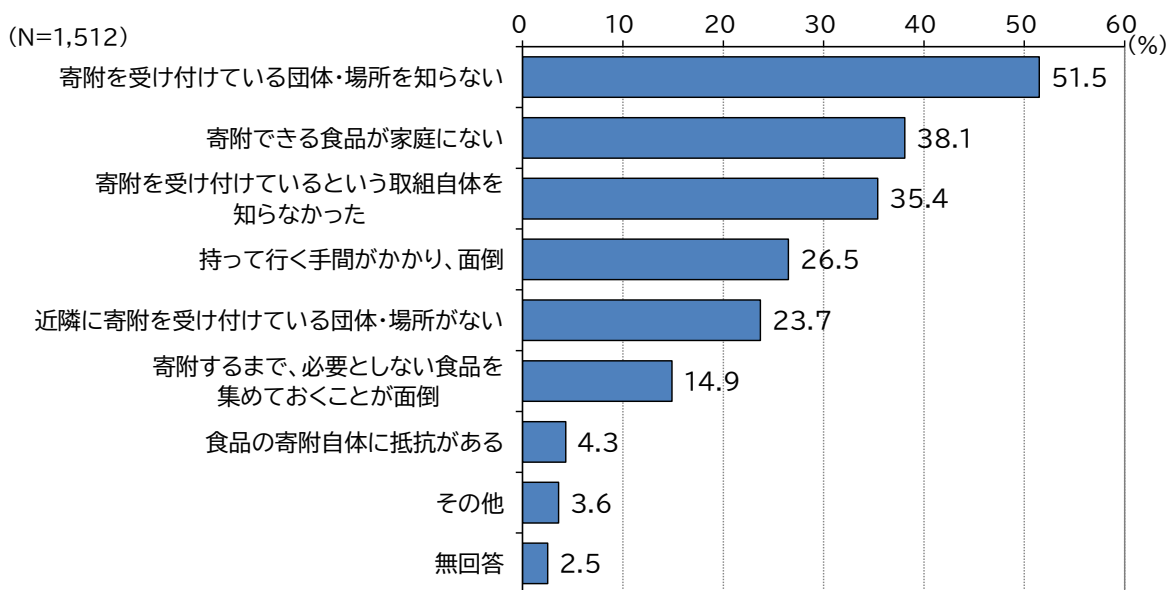
問5 フードバンク等へ食品を寄附する妨げとなっている理由

フードバンク等へ食品を寄附する妨げとなっている理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○印)

全体では、「寄附を受け付けている団体・場所を知らない」(51.5%)が最も多く、次いで「寄附できる食品が家庭にない」(38.1%)、「寄附を受け付けているという取組自体を知らなかった」(35.4%)となっている。

また、「その他」の主だった意見は、「食品ロスをなくすように買物に気をつけているので余らない」、「近所の方や知り合いにおすそ分けする」、「取り組みがあまり知られていないので、メディア等、広い認知が必要だと思う」などとなっている。

図 フードバンク等へ食品を寄附する妨げとなっている理由



性別にみると、男性、女性ともに「寄附を受け付けている団体・場所を知らない」、その他は「持って行く手間がかかり、面倒」(60.0%)が最も多くなっている。

年代別にみると、20歳代、40～60歳代は「寄附を受け付けている団体・場所を知らない」、10歳代は「寄附を受け付けているという取組自体を知らなかった」(63.6%)、70歳以上は「寄附できる食品が家庭にない」(48.0%)がそれぞれ最も多くなっている。

婚姻状況別にみると、すべての婚姻状況で「寄附を受け付けている団体・場所を知らない」が最も多くなっている。

居住地別にみると、嶺北広域圏を除くすべての居住地で「寄附を受け付けている団体・場所を知らない」が最も多く、嶺北広域圏は「寄附できる食品が家庭にない」(48.0%)が最も多くなっている。

表 フードバンク等へ食品を寄附する妨げとなっている理由

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
		調査数 (人)	所寄附を受け付けている団体・場所を知らない	寄附できる食品が家庭にない	組寄附を受け付けていないという取	持って行く手間がかかり、面倒	体近隣に寄附を受け付けている団体・場所がない	品寄附するまで、必要としない食品を集めておくことが面倒	食品の寄附自体に抵抗がある	その他	無回答
【表の見方】											
比率(%)											
網掛け=											
		1位									
		2位									
全体		1,512	51.5	38.1	35.4	26.5	23.7	14.9	4.3	3.6	2.5
性別	男性	626	53.7	35.3	39.1	30.8	24.1	18.2	3.8	3.5	1.8
	女性	877	49.9	40.3	33.0	23.1	23.3	12.5	4.7	3.5	3.0
	その他	5	40.0	40.0	20.0	60.0	40.0	20.0	-	20.0	-
年代	10歳代	22	50.0	4.5	63.6	22.7	18.2	9.1	4.5	-	-
	20歳代	84	58.3	21.4	53.6	32.1	17.9	20.2	8.3	2.4	-
	30歳代	138	46.4	29.0	46.4	38.4	20.3	18.8	5.1	2.9	0.7
	40歳代	212	50.9	30.7	38.7	35.8	22.2	19.8	5.7	3.3	2.4
	50歳代	265	55.5	40.8	32.5	27.5	25.7	14.3	4.2	4.2	1.9
	60歳代	358	57.8	38.3	31.3	27.1	22.9	15.1	2.8	3.9	1.7
	70歳以上	431	44.5	48.0	30.6	16.2	26.5	10.9	3.9	3.7	4.6
婚姻状況	未婚	343	54.2	30.0	40.8	28.3	21.6	14.3	4.4	3.2	2.6
	既婚	949	51.4	39.5	33.9	28.3	24.6	16.5	4.5	3.3	1.7
	その他	210	49.0	46.2	33.8	15.7	22.4	9.5	2.9	5.7	4.8
お住まいの場所	高知市	715	51.5	38.6	35.8	26.7	20.3	15.4	4.2	4.1	2.2
	安芸広域圏	83	50.6	28.9	42.2	15.7	33.7	13.3	1.2	2.4	7.2
	南国・香美広域圏	245	49.8	40.0	33.9	33.9	28.2	18.0	3.3	3.7	1.6
	嶺北広域圏	25	44.0	48.0	44.0	16.0	24.0	4.0	4.0	-	-
	仁淀川広域圏	118	44.9	39.0	31.4	24.6	24.6	12.7	4.2	5.1	2.5
	高吾北広域圏	38	52.6	36.8	23.7	26.3	36.8	5.3	2.6	5.3	-
	高幡広域圏	106	57.5	35.8	34.9	22.6	30.2	15.1	6.6	2.8	4.7
幡多広域圏	178	56.2	38.2	37.6	25.8	19.7	15.2	6.7	1.7	1.1	

3. 社会貢献活動について

問6 ボランティア活動の関心度

あなたは、ボランティア活動に関心がありますか。(当てはまるもの1つに○印)

全体では、「関心がある」(50.7%)、「関心がない」(46.6%)となっている。

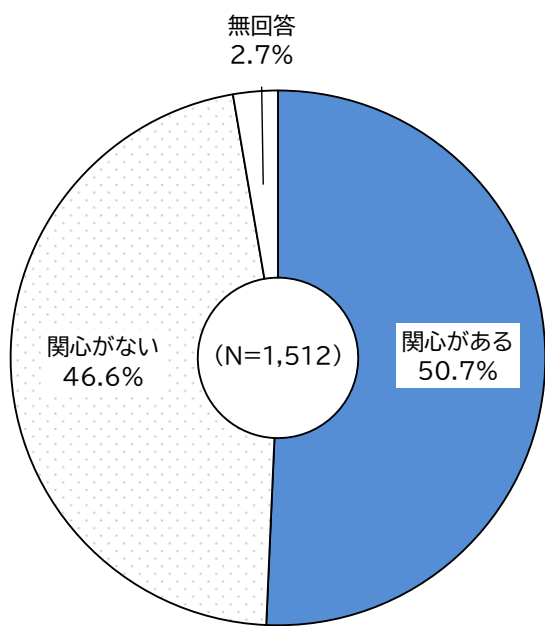
性別にみると、男性、その他は「関心がない」、女性は「関心がある」(52.3%)がそれぞれ最も多くなっている。

年代別にみると、10歳代、20歳代、50歳代以上は「関心がある」、30～40歳代は「関心がない」がそれぞれ最も多くなっている。

婚姻状況別にみると、未婚は「関心がない」(54.5%)、既婚、その他は「関心がある」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地別にみると、高知市、南国・香美広域圏、仁淀川広域圏、幡多広域圏は「関心がある」、安芸広域圏、嶺北広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏は「関心がない」がそれぞれ最も多くなっている。

図表 ボランティア活動の関心度



【表の見方】		調査数 (人)	(1)	(2)	無回答
比率(%)	関心がある		関心がない		
網掛け=	1位				
	2位				
全体		1,512	50.7	46.6	2.7
性別	男性	626	48.4	50.3	1.3
	女性	877	52.3	44.0	3.6
	その他	5	40.0	60.0	-
年代	10歳代	22	68.2	27.3	4.5
	20歳代	84	60.7	39.3	-
	30歳代	138	48.6	50.0	1.4
	40歳代	212	42.5	57.5	-
	50歳代	265	50.2	47.9	1.9
	60歳代	358	50.8	46.9	2.2
	70歳以上	431	52.9	41.5	5.6
婚姻状況	未婚	343	44.3	54.5	1.2
	既婚	949	51.9	45.3	2.7
	その他	210	56.2	40.5	3.3
お住まいの場所	高知市	715	52.3	45.7	2.0
	安芸広域圏	83	41.0	54.2	4.8
	南国・香美広域圏	245	51.8	44.5	3.7
	嶺北広域圏	25	36.0	64.0	-
	仁淀川広域圏	118	54.2	44.9	0.8
	高吾北広域圏	38	44.7	50.0	5.3
	高幡広域圏	106	44.3	50.0	5.7
	幡多広域圏	178	52.2	45.5	2.2

問7 NPO法人や市民活動団体、ボランティア団体などへの加入の有無

あなたは、NPO法人や市民活動団体、ボランティア団体などに「会員」(又は「役員」)として加入していますか。(当てはまるもの1つに○印)

全体では、「これまで加入したことはない」(89.5%)が最も多く、次いで「現在、加入している」(5.6%)、「過去に加入していた」(3.9%)となっている。

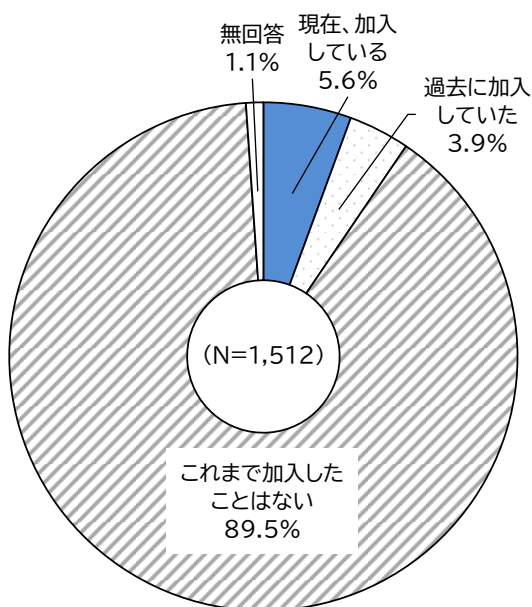
性別にみるとすべての性別で「これまで加入したことはない」が最も多く、「現在、加入している」は女性(4.8%)より男性(6.7%)の方が多くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「これまで加入したことはない」が最も多く、「現在、加入している」は60歳代(7.3%)が最も多くなっている。

婚姻状況別にみると、すべての婚姻状況で「これまで加入したことがない」が最も多く、「現在、加入している」は既婚(6.8%)が最も多くなっている。

居住地別にみると、すべての居住地域で「これまで加入したことはない」が最も多く、「現在、加入している」は嶺北広域圏(12.0%)が最も多くなっている。

図表 NPO法人や市民活動団体、ボランティア団体などへの加入の有無

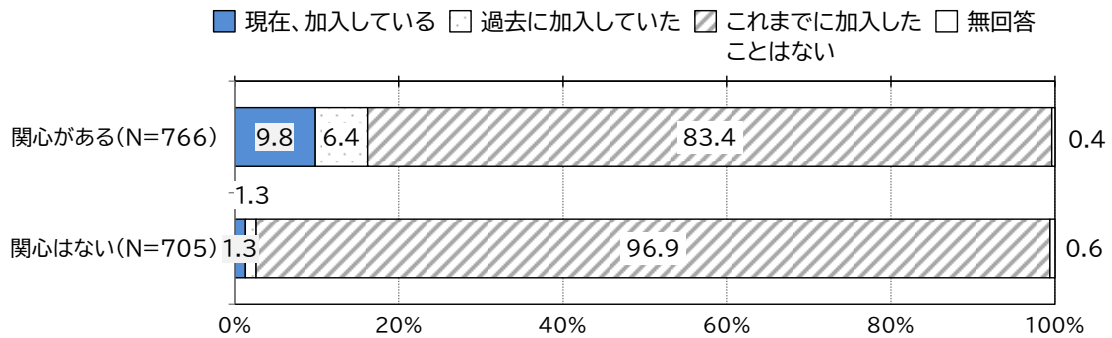


【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数(人)	(1)	(2)	(3)	無回答
		現在、加入している	過去に加入していた	これまで加入したことはない	
全体	1,512	5.6	3.9	89.5	1.1
性別					
男性	626	6.7	3.8	88.8	0.6
女性	877	4.8	4.0	90.0	1.3
その他	5	-	-	100.0	-
年代					
10歳代	22	-	-	100.0	-
20歳代	84	3.6	4.8	91.7	-
30歳代	138	5.1	2.9	92.0	-
40歳代	212	3.3	2.8	93.4	0.5
50歳代	265	6.4	3.0	90.2	0.4
60歳代	358	7.3	3.9	88.0	0.8
70歳以上	431	5.6	5.3	86.8	2.3
婚姻状況					
未婚	343	2.0	2.3	95.0	0.6
既婚	949	6.8	4.2	87.9	1.1
その他	210	5.2	5.2	88.6	1.0
お住まいの場所					
高知市	715	4.9	3.4	90.9	0.8
安芸広域圏	83	8.4	8.4	81.9	1.2
南国・香美広域圏	245	5.3	2.0	92.2	0.4
嶺北広域圏	25	12.0	4.0	84.0	-
仁淀川広域圏	118	5.1	7.6	85.6	1.7
高吾北広域圏	38	10.5	2.6	86.8	-
高幡広域圏	106	7.5	5.7	84.9	1.9
幡多広域圏	178	4.5	3.4	90.4	1.7

(★問7×問6のクロス分析)

ボランティア活動の関心度との関係を見ると、ボランティア活動に関心があると回答した方は「現在、加入している」が9.8%、「過去に加入していた」が6.4%となっており、一方で、ボランティア活動に関心はないと回答した方は「現在、加入している」が1.3%、「過去に加入していた」が1.3%となっており、ボランティア活動に関心がある人の方が加入率が高いことが伺える。

図 NPO法人や市民活動団体、ボランティア団体などへの加入の有無
－ボランティア活動の関心度との関係－



問8 ボランティア活動の参加の有無

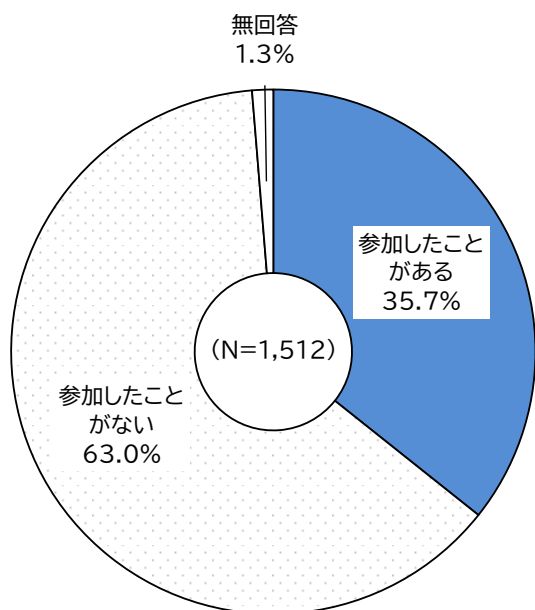
あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。(当てはまるもの1つに○印)

全体では、「参加したことがある」(35.7%)、「参加したことがない」(63.0%)となっている。
性別にみると、すべての性別で「参加したことがない」が最も多くなっている。

年代別にみると、10～30歳代は「参加したことがある」が最も多く、40歳代以上は「参加したことがない」がそれぞれ最も多くなっている。

婚姻状況別にみると、すべての婚姻状況で「参加したことがない」が最も多くなっている。
居住地別にみると、すべての居住地で「参加したことがない」が最も多くなっている。

図表 ボランティア活動の参加の有無

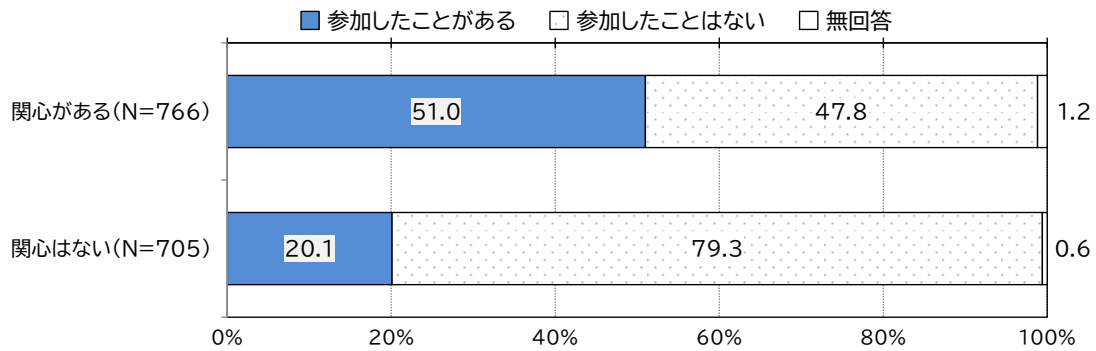


【表の見方】	調査数(人)	(1)	(2)	無回答	
		参加したことがある	参加したことがない		
比率(%) 網掛け=		1位	2位		
全体	1,512	35.7	63.0	1.3	
性別	男性	626	36.3	62.5	1.3
	女性	877	35.1	63.6	1.3
	その他	5	40.0	60.0	-
年代	10歳代	22	72.7	27.3	-
	20歳代	84	51.2	48.8	-
	30歳代	138	50.7	48.6	0.7
	40歳代	212	35.8	63.2	0.9
	50歳代	265	32.8	66.0	1.1
	60歳代	358	32.7	66.5	0.8
	70歳以上	431	30.4	67.3	2.3
婚姻状況	未婚	343	34.4	64.4	1.2
	既婚	949	36.8	62.2	1.1
	その他	210	33.3	64.8	1.9
お住まいの場所	高知市	715	33.0	65.9	1.1
	安芸広域圏	83	30.1	66.3	3.6
	南国・香美広域圏	245	38.0	62.0	-
	嶺北広域圏	25	40.0	56.0	4.0
	仁淀川広域圏	118	33.9	65.3	0.8
	高吾北広域圏	38	31.6	68.4	-
	高幡広域圏	106	44.3	54.7	0.9
幡多広域圏	178	42.7	55.1	2.2	

(★問8 × 問6のクロス分析)

ボランティア活動の関心度との関係を見ると、ボランティア活動に関心があると回答した方は「参加したことがある」が51.0%となっており、一方で、ボランティア活動に関心はないと回答した方は「参加したことがある」が20.1%となっており、ボランティア活動に関心がある人の方が参加率が高いことが伺える。

図 ボランティア活動の参加の有無 - ボランティア活動の関心度との関係 -



副問1 ボランティア活動の参加の有無（令和4年内）

問8で「1 参加したことがある」と回答した方にお聞きします。

副問1 あなたは、昨年一年間（令和4年1月～12月）にボランティア活動に参加したことがありますか。（当てはまるもの1つに○印）

全体では、「ある」（36.5%）、「ない」（58.3%）となっている。

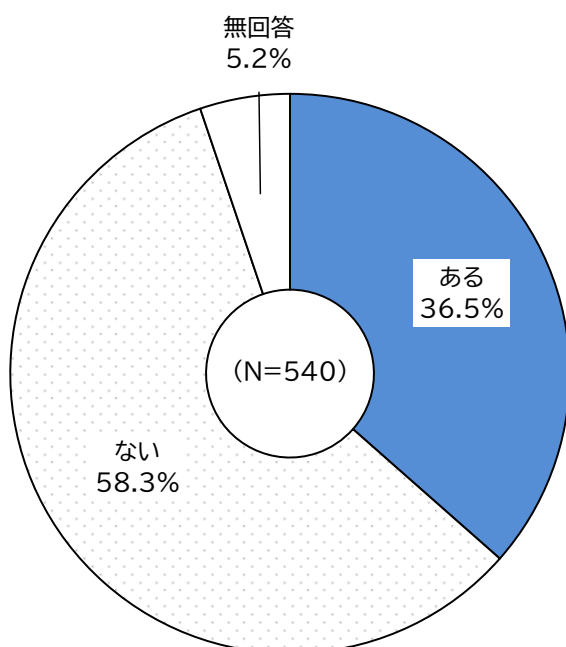
性別にみると、すべての性別で「ない」が最も多く、「ある」は女性（34.1%）より男性（40.1%）の方が多くなっている。

年代別にみると50歳代以下は「ない」、60歳代以上は「ある」が多くなっている。

婚姻状況別にみると、未婚、既婚は「ない」、その他は「ある」がそれぞれ多くなっている。

居住地別にみると、高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、幡多広域圏は「ない」、嶺北広域圏、高幡広域圏は「ある」がそれぞれ多くなっている。

図表 ボランティア活動の参加の有無（令和4年内）



【表の見方】	調査数 (人)	(1)	(2)	無回答	
		ある	ない		
比率(%) 網掛け=					
		1位			
		2位			
全体	540	36.5	58.3	5.2	
性別	男性	227	40.1	56.4	3.5
	女性	308	34.1	59.7	6.2
	その他	2	-	100.0	-
年代	10歳代	16	18.8	75.0	6.3
	20歳代	43	16.3	81.4	2.3
	30歳代	70	15.7	80.0	4.3
	40歳代	76	23.7	71.1	5.3
	50歳代	87	44.8	52.9	2.3
	60歳代	117	47.9	45.3	6.8
	70歳以上	131	48.1	45.0	6.9
婚姻状況	未婚	118	20.3	76.3	3.4
	既婚	349	39.5	55.0	5.4
	その他	70	47.1	45.7	7.1
お住まいの場所	高知市	236	29.2	66.1	4.7
	安芸広域圏	25	44.0	52.0	4.0
	南国・香美広域圏	93	40.9	59.1	-
	嶺北広域圏	10	60.0	30.0	10.0
	仁淀川広域圏	40	42.5	47.5	10.0
	高吾北広域圏	12	41.7	50.0	8.3
	幡多広域圏	47	46.8	42.6	10.6

副問2 ボランティア活動の参加回数（令和4年内）

副問2（副問1で「1 ある」と回答した方にお聞きします。）

昨年一年間（令和4年1月～12月）に何回ほど活動しましたか。（当てはまるもの1つに○印）

全体では、「2～5回」（54.8%）が最も多く、次いで「1回のみ」（22.8%）、「11回以上」（15.7%）となっている。

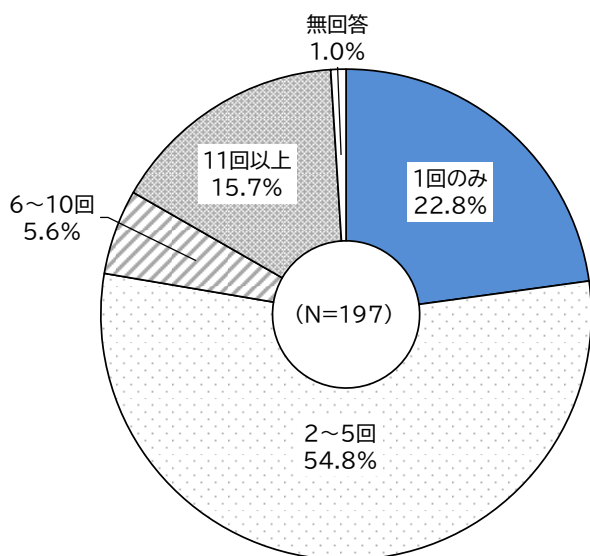
性別にみると、男性、女性ともに「2～5回」が最も多くなっている。

年代別にみると、10歳代は「1回のみ」（66.7%）、20歳代以上は「2～5回」がそれぞれ最も多くなっている。

婚姻状況別にみると、未婚は「1回以上」、既婚、その他は「2～5回」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地別にみると、高吾北広域圏を除くすべての居住地で「2～5回」が最も多く、高吾北広域圏は「1回のみ」、「2～5回」（同率で40.0%）が最も多くなっている。

図表 ボランティア活動の参加回数（令和4年内）



【表の見方】	調査数（人）	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	
		1回のみ	2～5回	6～10回	11回以上		
比率(%)							
網掛け	1位						
	2位						
全体	197	22.8	54.8	5.6	15.7	1.0	
性別	男性	91	19.8	53.8	5.5	19.8	1.1
	女性	105	25.7	55.2	5.7	12.4	1.0
	その他	-	-	-	-	-	-
年代	10歳代	3	66.7	33.3	-	-	-
	20歳代	7	42.9	57.1	-	-	-
	30歳代	11	36.4	45.5	-	18.2	-
	40歳代	18	22.2	61.1	-	16.7	-
	50歳代	39	23.1	51.3	7.7	15.4	2.6
	60歳代	56	16.1	57.1	8.9	16.1	1.8
	70歳以上	63	22.2	55.6	4.8	17.5	-
婚姻状況	未婚	24	54.2	37.5	-	4.2	4.2
	既婚	138	18.1	58.7	5.8	17.4	-
	その他	33	18.2	54.5	9.1	15.2	3.0
お住まいの場所	高知市	69	24.6	47.8	5.8	18.8	2.9
	安芸広域圏	11	27.3	54.5	9.1	9.1	-
	南国・香美広域圏	38	10.5	84.2	2.6	2.6	-
	嶺北広域圏	6	16.7	66.7	-	16.7	-
	仁淀川広域圏	17	29.4	47.1	5.9	17.6	-
	高吾北広域圏	5	40.0	40.0	-	20.0	-
	高幡広域圏	22	22.7	45.5	4.5	27.3	-
幡多広域圏	29	27.6	44.8	10.3	17.2	-	

副問3 参加したことのあるボランティア活動の分野

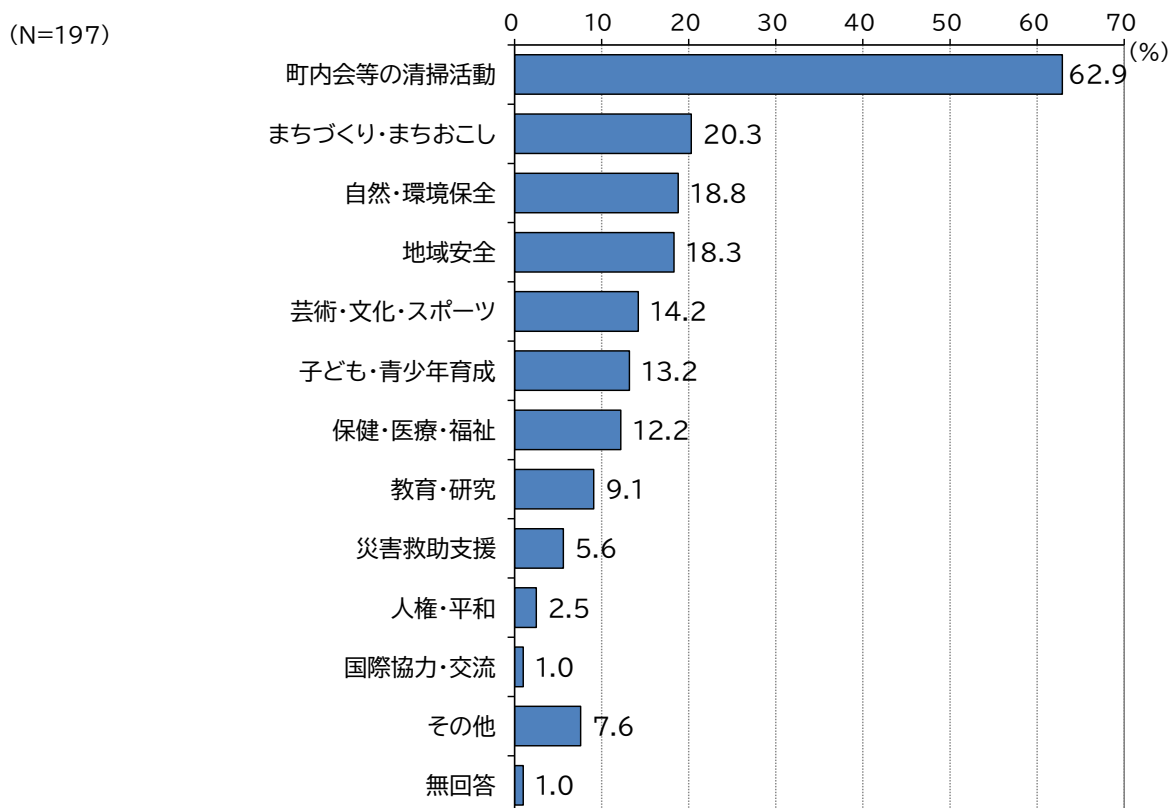
副問3（副問1で「1 ある」と回答した方にお聞きします。）

どのような分野の活動に参加しましたか。（当てはまるものすべてに○印）

全体では、「町内会等の清掃活動」（62.9%）が最も多く、次いで「まちづくり・まちおこし」（20.3%）、「自然・環境保全」（18.8%）、「地域安全」（18.3%）となっている。

また、「その他」の主だった意見は、「子ども食堂への材料（野菜等）の提供」、「高齢者とのふれあい活動」、「ふれあい場所での園芸（草とり、花植え）」などとなっている。

図 参加したことのあるボランティア活動の分野



性別にみると、男性、女性ともに「町内会等の清掃活動」が最も多く、次いで男性は「地域安全」、女性は「まちづくり・まちおこし」となっている。

年代別にみると、すべての年代で「町内会等の清掃活動」が最も多く、20歳代は「まちづくり・まちおこし」、「教育・研究」（同率で28.6%）も最も多くなっている。

婚姻状況別にみると、未婚は「町内会等の清掃活動」、「子ども・青少年育成」（同率で29.2%）、既婚、その他は「町内会等の清掃活動」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地別にみると、すべての居住地で「町内会等の清掃活動」が最も多くなっている。

図 参加したことがあるボランティア活動の分野

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	無回答	
		町内会等の清掃活動	まちづくり・まちおこし	自然・環境保全	地域安全	芸術・文化・スポーツ	子ども・青少年育成	保健・医療・福祉	教育・研究	災害救助支援	人権・平和	国際協力・交流	その他		
全体	197	62.9	20.3	18.8	18.3	14.2	13.2	12.2	9.1	5.6	2.5	1.0	7.6	1.0	
性別	男性	91	69.2	20.9	23.1	25.3	20.9	12.1	11.0	11.0	7.7	4.4	-	4.4	1.1
	女性	105	57.1	20.0	15.2	12.4	8.6	14.3	13.3	7.6	3.8	1.0	1.9	10.5	1.0
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代	10歳代	3	66.7	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	7	28.6	28.6	14.3	14.3	-	14.3	-	28.6	-	-	-	-	-
	30歳代	11	63.6	18.2	18.2	18.2	36.4	27.3	9.1	27.3	9.1	9.1	9.1	-	-
	40歳代	18	27.8	11.1	16.7	22.2	16.7	22.2	5.6	11.1	-	-	-	-	-
	50歳代	39	71.8	20.5	15.4	12.8	12.8	12.8	10.3	5.1	5.1	-	2.6	2.6	-
	60歳代	56	69.6	26.8	17.9	26.8	8.9	12.5	17.9	8.9	8.9	5.4	-	12.5	-
	70歳以上	63	65.1	17.5	23.8	14.3	17.5	7.9	12.7	6.3	4.8	1.6	-	11.1	3.2
婚姻状況	未婚	24	29.2	16.7	12.5	12.5	4.2	29.2	8.3	12.5	4.2	-	4.2	-	-
	既婚	138	68.8	22.5	21.0	20.3	15.9	13.8	13.8	9.4	4.3	2.9	0.7	10.1	1.4
	その他	33	63.6	15.2	15.2	15.2	9.1	-	9.1	6.1	12.1	3.0	-	3.0	-
お住まいの場所	高知市	69	59.4	14.5	21.7	17.4	11.6	20.3	10.1	5.8	2.9	2.9	1.4	8.7	-
	安芸広域圏	11	63.6	45.5	18.2	45.5	27.3	9.1	-	18.2	-	-	-	18.2	-
	南国・香美広域圏	38	63.2	13.2	21.1	18.4	10.5	10.5	10.5	-	5.3	-	-	7.9	2.6
	嶺北広域圏	6	83.3	50.0	33.3	-	-	-	16.7	16.7	-	-	-	16.7	-
	仁淀川広域圏	17	64.7	5.9	11.8	11.8	-	17.6	5.9	17.6	5.9	-	5.9	5.9	5.9
	高吾北広域圏	5	60.0	40.0	20.0	20.0	40.0	-	40.0	-	-	-	-	-	-
	高幡広域圏	22	77.3	27.3	4.5	22.7	31.8	9.1	22.7	18.2	18.2	4.5	-	-	-
幡多広域圏	29	55.2	27.6	20.7	13.8	13.8	6.9	13.8	13.8	6.9	6.9	-	6.9	-	

副問4 ボランティア活動に参加した理由

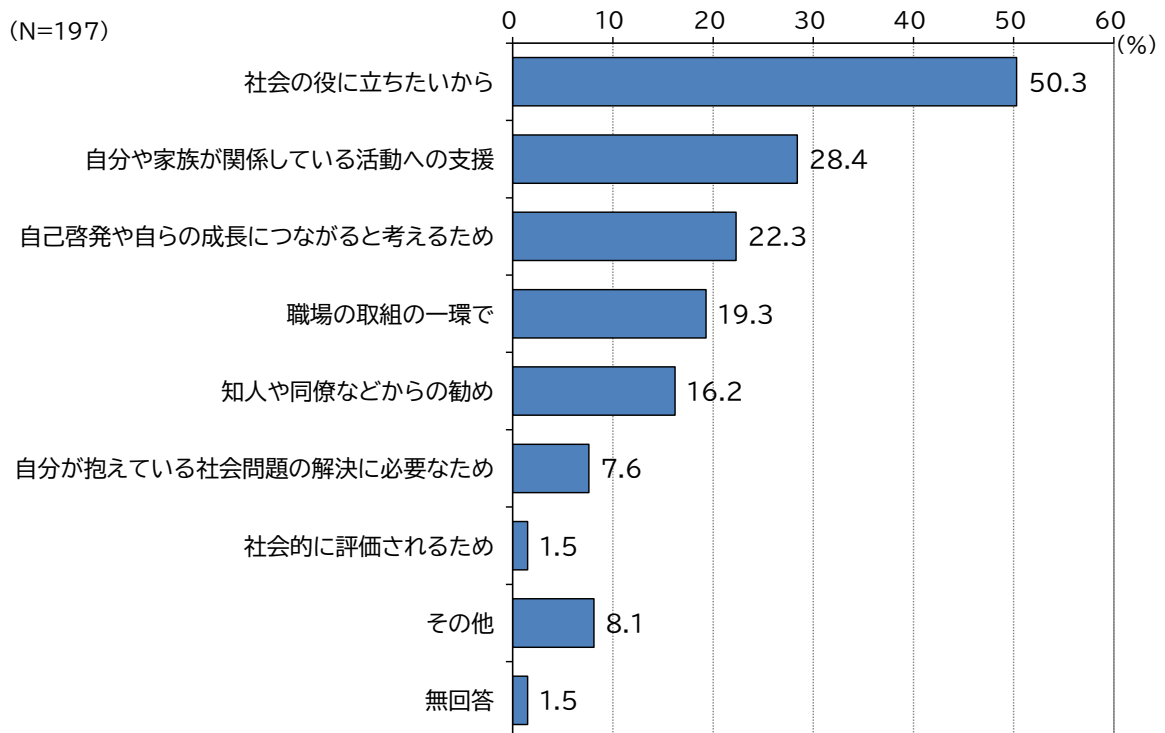
副問4（副問1で「1 ある」と回答した方にお聞きします。）

ボランティア活動に参加した理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○印）

全体では、「社会の役に立ちたいから」（50.3%）が最も多く、次いで「自分や家族が関係している活動への支援」（28.4%）、「自己啓発や自らの成長につながるため」（22.3%）、「職場の取組の一環で」（19.3%）となっている。

また、「その他」の主だった意見は、「美しい川を守ってゆくため」、「地域の人々や子供たちと関われるから」、「地域の取組の一環」などとなっている。

図 ボランティア活動に参加した理由



性別にみると、男性、女性ともに「社会の役に立ちたいから」が最も多くなっている。

年代別にみると、20歳代は「自己啓発や自らの成長につながる」と考えるため（57.1%）、30歳代、50歳代以上は「社会の役に立ちたいから」、40歳代は「社会の役に立ちたいから」、「職場の取組の一環で」（同率で38.9%）がそれぞれ最も多くなっている。

婚姻状況別にみると、未婚は「自己啓発や自らの成長につながる」と考えるため（37.5%）、既婚、その他は「社会の役に立ちたいから」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地別にみると、安芸広域圏を除くすべての居住地で「社会の役に立ちたいから」が最も多く、安芸広域圏は「社会の役に立ちたいから」、「自分や家族が関係している活動への支援」（同率で54.5%）が最も多くなっている。

表 ボランティア活動に参加した理由

		調査数（人）	(1) 社会の役に立ちたいから	(2) 自分や家族が関係している活動への支援	(3) 自己啓発や自らの成長につながる	(4) 職場の取組の一環で	(5) 知人や同僚などからの勧め	(6) 自分が抱えている社会問題の解決に必要なため	(7) 社会的に評価されるため	(8) その他	無回答
【表の見方】											
比率(%)											
網掛け=											
			1位	2位							
全体		197	50.3	28.4	22.3	19.3	16.2	7.6	1.5	8.1	1.5
性別	男性	91	53.8	28.6	24.2	20.9	18.7	11.0	3.3	7.7	2.2
	女性	105	46.7	28.6	21.0	18.1	14.3	4.8	-	8.6	1.0
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代	10歳代	3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-
	20歳代	7	-	-	57.1	28.6	28.6	-	-	14.3	-
	30歳代	11	54.5	27.3	27.3	36.4	18.2	18.2	-	9.1	-
	40歳代	18	38.9	27.8	5.6	38.9	5.6	-	-	-	-
	50歳代	39	41.0	38.5	28.2	35.9	17.9	10.3	2.6	5.1	2.6
	60歳代	56	48.2	28.6	26.8	10.7	21.4	7.1	1.8	16.1	-
	70歳以上	63	68.3	25.4	14.3	6.3	12.7	7.9	1.6	3.2	3.2
婚姻状況	未婚	24	16.7	8.3	37.5	33.3	20.8	4.2	-	12.5	-
	既婚	138	55.1	34.8	22.5	17.4	15.9	10.1	2.2	8.0	2.2
	その他	33	57.6	18.2	12.1	18.2	9.1	-	-	6.1	-
お住まいの場所	高知市	69	47.8	26.1	27.5	18.8	11.6	8.7	1.4	8.7	-
	安芸広域圏	11	54.5	54.5	9.1	-	18.2	18.2	-	27.3	-
	南国・香美広域圏	38	47.4	42.1	10.5	13.2	18.4	7.9	-	5.3	2.6
	嶺北広域圏	6	66.7	33.3	16.7	33.3	-	-	-	-	-
	仁淀川広域圏	17	52.9	23.5	17.6	11.8	23.5	-	-	-	11.8
	高吾北広域圏	5	60.0	-	40.0	-	20.0	-	-	20.0	-
	高幡広域圏	22	40.9	22.7	22.7	27.3	22.7	9.1	4.5	9.1	-
	幡多広域圏	29	58.6	17.2	31.0	34.5	17.2	6.9	3.4	6.9	-

副問5 ボランティア活動に参加した直接的なきっかけ

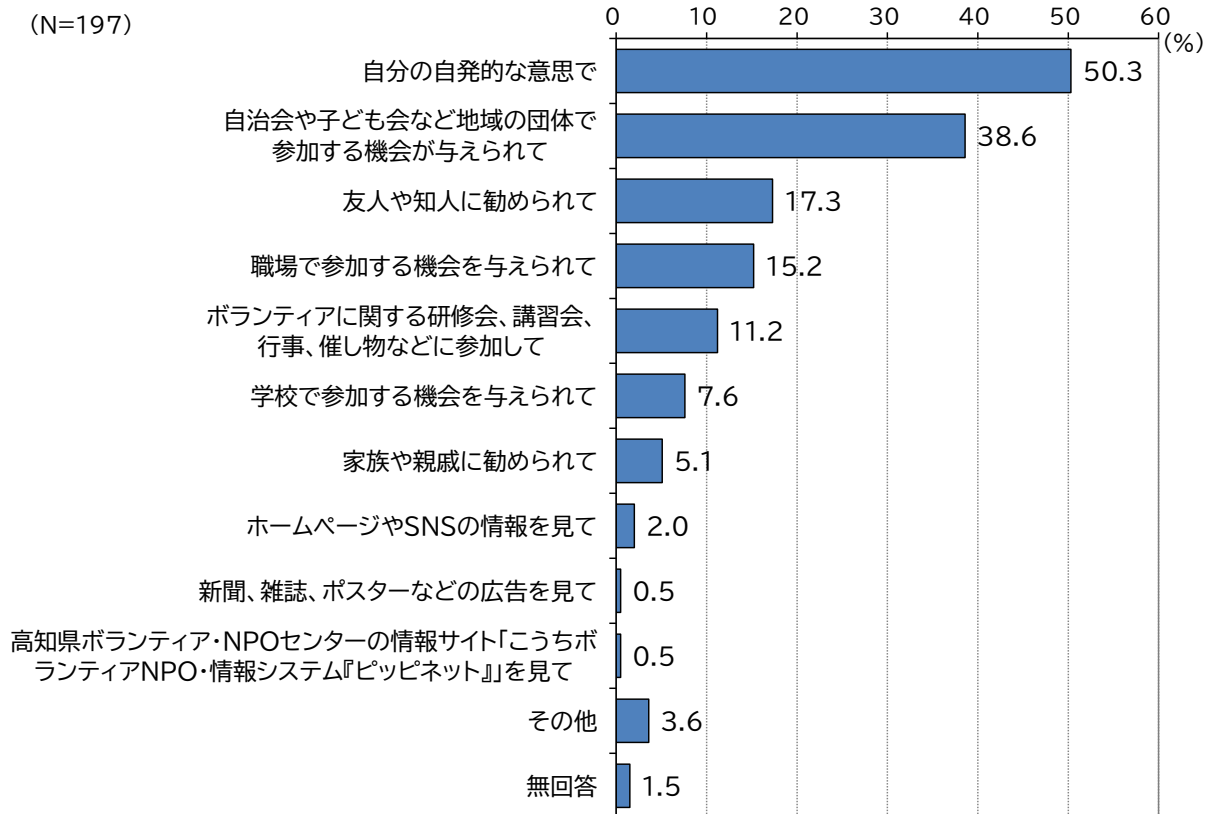
副問5（副問1で「1 ある」と回答した方にお聞きします。）

ボランティア活動に参加した直接的なきっかけは何ですか。（当てはまるものすべてに○印）

全体では、「自分の自発的な意思で」（50.3%）が最も多く、次いで「自治会や子ども会など地域の団体で参加する機会が与えられて」（38.6%）、「友人や知人に勧められて」（17.3%）、「職場で参加する機会が与えられて」（15.2%）となっている。

また、「その他」の主だった意見は、「地域団体のすすめ」、「なりゆき」などとなっている。

図 ボランティア活動に参加した直接的なきっかけ



性別にみると、男性、女性ともに「自分の自発的な意思で」が最も多くなっている。

年代別にみると、30歳代、50歳代以上は「自分の自発的な意思で」が最も多くなっている。

婚姻状況別にみると、未婚、既婚は「自分の自発的な意思で」、その他は「自治会や子ども会など地域の団体で参加する機会が与えられて」（45.5%）がそれぞれ最も多くなっている。

居住地別にみると、南国・香美広域、嶺北広域圏を除くすべての居住地で「自分の自発的な意思で」が最も多く、南国・香美広域、嶺北広域圏は「自治会や子ども会など地域の団体で参加する機会が与えられて」が最も多くなっている。

表 ボランティア活動に参加した直接的なきっかけ

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	無回答	
		自分の自発的な意思で	自治会や子ども会など地域の団体で参加する機会が与えられて	友人や知人に勧められて	職場で参加する機会を与えられて	ボランティアに関する研修会、講習会、行事、催し物などに参加して	学校で参加する機会を与えられて	家族や親戚に勧められて	ホームページやSNSの情報を見て	新聞、雑誌、ポスターなどの広告を見て	高知県ボランティア・NPOセンター「こうちびネットワーク」を見て	その他		
全体	197	50.3	38.6	17.3	15.2	11.2	7.6	5.1	2.0	0.5	0.5	3.6	1.5	
性別	男性	91	56.0	44.0	19.8	15.4	12.1	9.9	4.4	2.2	-	1.1	5.5	1.1
	女性	105	45.7	33.3	15.2	15.2	10.5	5.7	5.7	1.9	1.0	-	1.9	1.9
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代	10歳代	3	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	7	42.9	14.3	14.3	42.9	-	42.9	-	-	-	-	-	-
	30歳代	11	63.6	36.4	9.1	27.3	9.1	18.2	9.1	-	-	9.1	-	9.1
	40歳代	18	33.3	33.3	-	16.7	5.6	11.1	-	5.6	-	-	-	-
	50歳代	39	46.2	38.5	17.9	30.8	7.7	5.1	2.6	2.6	2.6	-	2.6	2.6
	60歳代	56	48.2	41.1	19.6	10.7	12.5	8.9	8.9	1.8	-	-	5.4	1.8
	70歳以上	63	60.3	41.3	20.6	3.2	15.9	-	4.8	1.6	-	-	4.8	-
婚姻状況	未婚	24	41.7	12.5	12.5	20.8	-	20.8	4.2	4.2	-	-	4.2	4.2
	既婚	138	55.1	42.0	18.1	15.2	12.3	5.8	5.1	2.2	0.7	0.7	4.3	0.7
	その他	33	36.4	45.5	12.1	12.1	15.2	6.1	6.1	-	-	-	-	3.0
お住まいの場所	高知市	69	49.3	36.2	8.7	14.5	7.2	7.2	1.4	4.3	1.4	-	5.8	1.4
	安芸広域圏	11	72.7	36.4	9.1	-	18.2	9.1	27.3	-	-	9.1	-	-
	南国・香美広域圏	38	36.8	60.5	13.2	10.5	15.8	2.6	5.3	-	-	-	5.3	2.6
	嶺北広域圏	6	16.7	66.7	16.7	33.3	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-
	仁淀川広域圏	17	58.8	29.4	17.6	11.8	-	11.8	5.9	5.9	-	-	-	-
	高吾北広域圏	5	80.0	20.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	幡多広域圏	22	50.0	45.5	36.4	13.6	22.7	9.1	4.5	-	-	-	4.5	4.5
幡多広域圏	29	58.6	13.8	27.6	27.6	10.3	10.3	6.9	-	-	-	-	-	

問9 こうちボランティアNPO・情報システム『ピッピネット』の認知度

ボランティア募集情報などを掲載している情報サイト「こうちボランティアNPO・情報システム『ピッピネット』」を知っていますか。(当てはまるもの1つに○印)

全体では、「知っている」(3.6%)、「知らない」(93.4%)となっている。

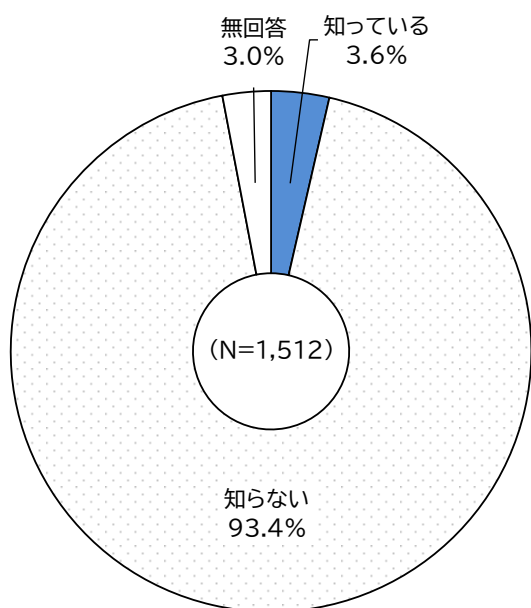
性別にみると、すべての性別で「知らない」が9割以上となっている。

年代別にみると、すべての年代で「知らない」が9割以上となっており、「知っている」は40歳代(6.6%)が他の年代と比べて多くなっている。

婚姻状況別にみると、すべての婚姻状況で「知らない」が9割以上となっている。

居住地別にみると、高幡広域圏を除くすべての居住地で「知らない」が9割以上となっており、「知っている」は高吾北広域圏(5.3%)が他の居住地と比べて多くなっている。

図表 こうちボランティアNPO・情報システム『ピッピネット』の認知度



【表の見方】		調査数 (人)	(1)	(2)	無回答
比率(%)	知っている		知らない		
網掛け=	1位				
	2位				
全体		1,512	3.6	93.4	3.0
性別	男性	626	2.4	95.0	2.6
	女性	877	4.6	92.2	3.2
	その他	5	-	100.0	-
年代	10歳代	22	-	100.0	-
	20歳代	84	3.6	96.4	-
	30歳代	138	4.3	94.2	1.4
	40歳代	212	6.6	92.0	1.4
	50歳代	265	4.2	94.0	1.9
	60歳代	358	1.4	96.1	2.5
	70歳以上	431	3.7	90.3	6.0
婚姻状況	未婚	343	2.9	95.3	1.7
	既婚	949	4.0	93.3	2.7
	その他	210	3.3	91.4	5.2
お住まいの場所	高知市	715	3.2	93.7	3.1
	安芸広域圏	83	3.6	94.0	2.4
	南国・香美広域圏	245	4.5	93.5	2.0
	嶺北広域圏	25	4.0	96.0	-
	仁淀川広域圏	118	2.5	92.4	5.1
	高吾北広域圏	38	5.3	92.1	2.6
	高幡広域圏	106	4.7	89.6	5.7
	幡多広域圏	178	3.9	94.4	1.7

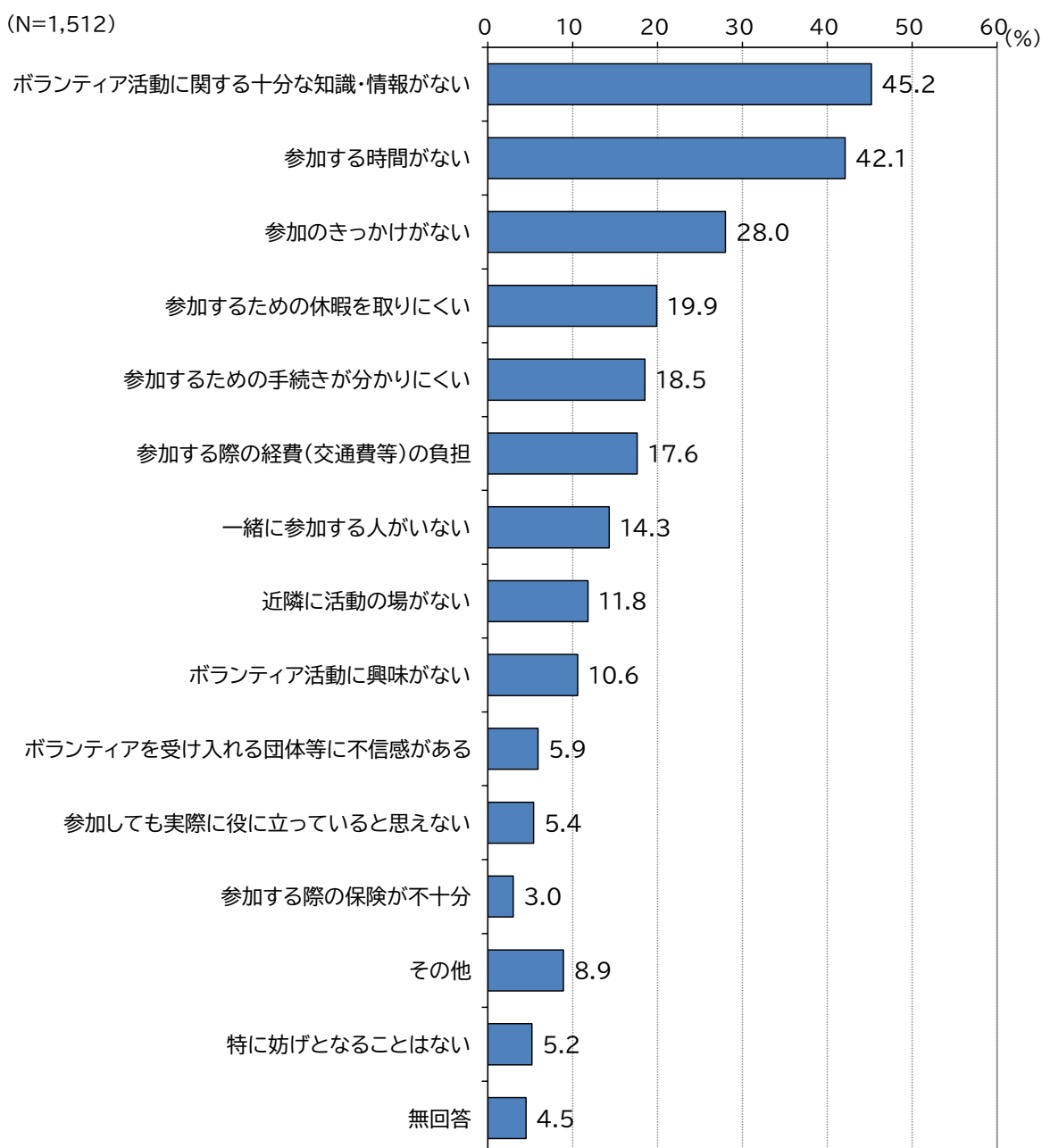
問10 ボランティア活動への参加の妨げとなること

ボランティア活動への参加の妨げとなることがあれば、それはどのようなことですか。(当てはまるものすべてに○印)

全体では、「ボランティア活動に関する十分な知識・情報がない」(45.2%)が最も多く、次いで「参加する時間がない」(42.1%)、「参加のきっかけがない」(28.0%)、「参加するための休暇を取りにくい」(19.9%)となっている。

また、「その他」の主だった意見は、「健康上の問題」、「高齢のため役に立つのかわからないから」などとなっている。

図 ボランティア活動への参加の妨げとなること



性別にみると、男性、女性ともに「ボランティア活動に関する十分な知識・情報がない」が最も多く、次いで「参加する時間がない」となっている。

年代別にみると、10歳代、60歳代以上は「ボランティア活動に関する十分な知識・情報がない」、20～50歳代は「参加する時間がない」がそれぞれ最も多くなっている。

婚姻状況別にみると、すべての婚姻状況で「ボランティア活動に関する十分な知識・情報がない」が最も多く、次いで「参加する時間がない」となっている。

居住地別にみると、高知市、南国・香美広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏は「ボランティア活動に関する十分な知識・情報がない」が最も多く、安芸広域圏、嶺北広域圏、仁淀川広域圏では「参加する時間がない」がそれぞれ最も多くなっている。

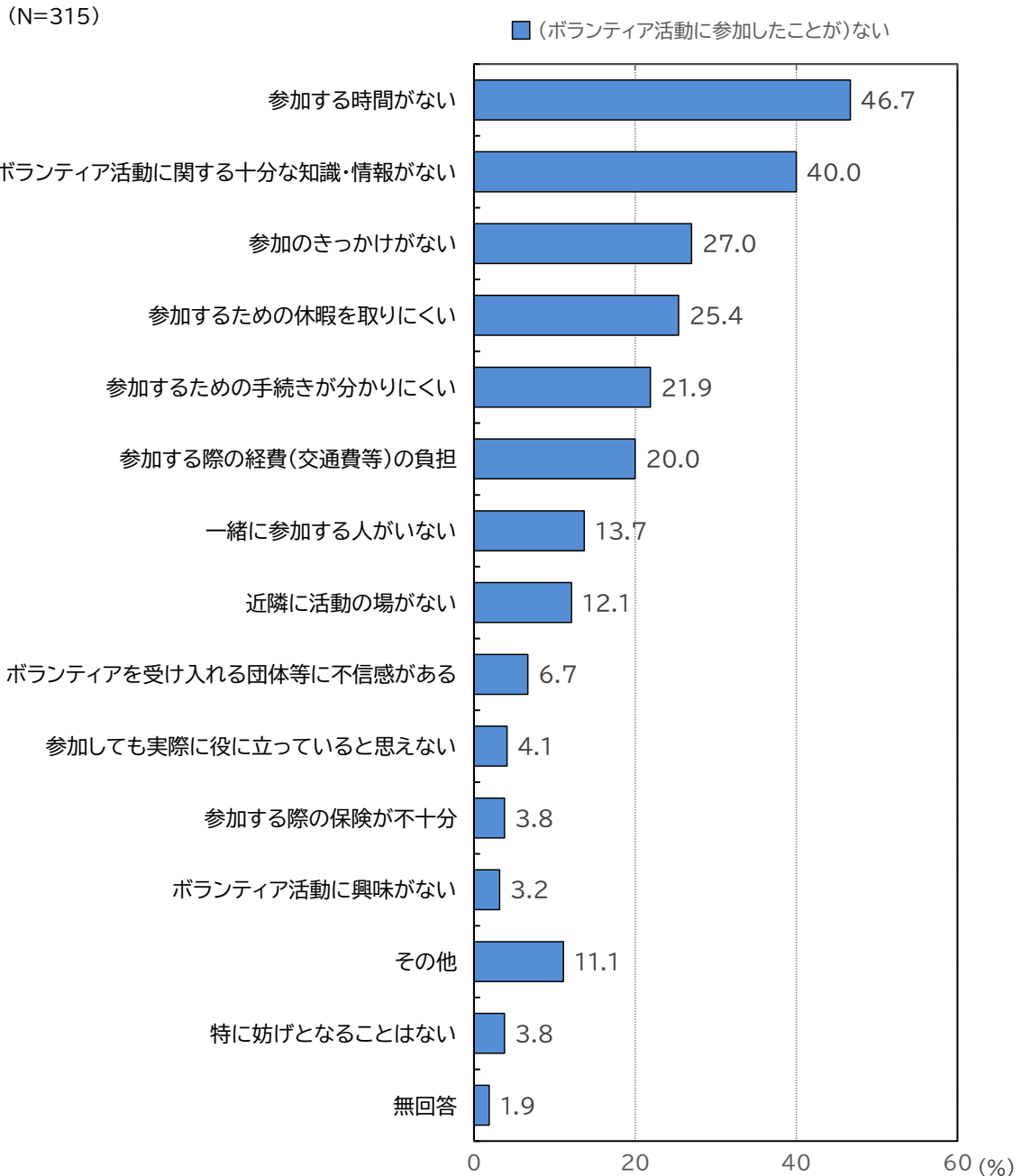
表 ボランティア活動への参加の妨げとなること

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数 (人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	無回答
		知ボランティア活動に関する十分な知識・情報がない	参加する時間がない	参加のきっかけがない	参加するための休暇を取りにくい	＜参加するための手続きが分かりにくい＞	負担参加する際の経費（交通費等）の	一緒に参加する人がいない	近隣に活動の場がない	ボランティア活動に興味がない	ボランティアを受け入れる団体等に不信感がある	参加しても実際に役に立っていないと思えない	参加する際の保険が不十分	その他	特に妨げとなることはない	
1位 2位																
全体	1,512	45.2	42.1	28.0	19.9	18.5	17.6	14.3	11.8	10.6	5.9	5.4	3.0	8.9	5.2	4.5
性別																
男性	626	44.4	41.9	27.2	22.4	20.0	17.3	11.5	12.0	14.4	7.7	6.1	4.0	5.6	6.1	3.0
女性	877	46.1	42.3	28.5	18.2	17.3	17.7	16.2	11.4	7.5	4.6	5.0	2.3	11.2	4.7	5.4
その他	5	40.0	60.0	40.0	20.0	40.0	60.0	40.0	40.0	60.0	20.0	-	20.0	40.0	-	-
年代																
10歳代	22	54.5	40.9	22.7	18.2	18.2	22.7	22.7	13.6	4.5	4.5	9.1	4.5	4.5	4.5	-
20歳代	84	48.8	60.7	28.6	29.8	22.6	23.8	25.0	10.7	11.9	6.0	4.8	4.8	2.4	6.0	-
30歳代	138	44.2	56.5	35.5	37.0	22.5	24.6	21.0	10.1	9.4	7.2	5.8	2.9	1.4	5.1	1.4
40歳代	212	42.0	53.8	30.7	33.0	20.8	25.9	17.0	11.8	13.2	12.3	6.1	4.7	4.7	3.3	1.9
50歳代	265	50.6	55.5	32.5	30.6	20.8	19.2	11.7	14.7	10.6	8.3	5.3	4.5	4.5	2.3	1.1
60歳代	358	51.1	40.5	27.1	15.1	21.5	17.9	14.0	10.3	9.2	3.4	6.4	2.5	7.0	6.7	3.4
70歳以上	431	38.1	21.6	22.7	3.7	11.6	8.6	10.2	11.8	10.7	3.0	4.2	1.4	19.3	6.7	10.7
婚姻状況																
未婚	343	45.2	42.9	32.4	24.8	21.3	23.9	18.1	10.5	15.7	8.5	5.8	4.7	5.5	4.7	1.7
既婚	949	44.9	44.8	27.6	20.5	17.9	15.3	12.4	12.0	9.5	5.4	5.2	2.7	9.2	4.7	3.9
その他(離別・死別含む)	210	48.1	30.0	23.8	10.0	17.1	17.1	16.2	12.9	7.1	4.3	5.7	1.4	13.3	7.6	10.5
お住まいの場所																
高知市	715	48.3	42.9	30.3	20.3	19.9	18.2	14.3	12.0	11.9	7.1	5.5	3.4	8.1	4.5	4.1
安芸広域圏	83	42.2	51.8	22.9	26.5	12.0	15.7	12.0	18.1	10.8	6.0	7.2	2.4	10.8	7.2	4.8
南国・香美広域圏	245	45.7	42.0	23.7	17.6	19.6	18.4	15.1	11.4	8.6	4.5	4.5	4.9	13.9	4.5	4.1
嶺北広域圏	25	28.0	40.0	32.0	12.0	4.0	8.0	8.0	4.0	12.0	12.0	8.0	-	16.0	4.0	4.0
仁淀川広域圏	118	34.7	43.2	28.0	25.4	19.5	16.1	14.4	11.0	9.3	5.1	5.9	1.7	8.5	5.1	5.1
高吾北広域圏	38	50.0	42.1	26.3	7.9	21.1	18.4	15.8	13.2	13.2	-	5.3	2.6	10.5	5.3	-
高幡広域圏	106	38.7	34.9	27.4	17.9	14.2	18.9	13.2	11.3	9.4	6.6	8.5	3.8	6.6	9.4	9.4
幡多広域圏	178	46.6	39.3	28.1	20.2	18.0	16.9	15.2	10.1	9.0	3.4	3.4	0.6	4.5	6.2	3.4

(★問10×問8副問1のクロス分析)

(令和4年内に) ボランティア活動に参加したことがないと回答した方との関係を見ると、「参加する時間がない」(46.7%)が最も多く、次いで「ボランティア活動に関する十分な知識・情報がない」(40.0%)、「参加のきっかけがない」(27.0%)となっている。

図 ボランティア活動への参加の妨げとなること
 - (令和4年内に) ボランティア活動に参加したことがないと回答した方との関係 -



問11 NPOに対するイメージ（自由意見）

あなたは、NPO（NPO法人、市民活動団体、ボランティア団体）にどのようなイメージを持っていますか。（自由記載）

主な意見は以下のとおり。

図 NPOに対するイメージ（自由意見）

【1. 良い印象について】

No.	意見	性別	年代
1	社会を良くしていくのに、志しのある人が積極的に活躍をしているのは大変良いことだと思う。	男性	40 歳代
2	社会に役立つ活動、とくに災害ボランティアの方々の活動は、メディア等に見る毎、とても感心しています。	女性	60 歳代
3	誰かの役にたっているという良いイメージです。ただし、今のご時世、詐欺とかも心配されるので、どのような団体なのかネット等で調べることは大切かなと思っています。肩書きに“〇〇県”とか“〇〇省”とか書かれていると安易に信頼してしまう傾向は、中高年以上に多いとも感じます。	女性	50 歳代
4	一人ではできない（限界がある）ところを色々な人々が結集して、より良い社会の為に貢献するという考えはすばらしいと思う。	女性	70 歳以上
5	非営利のボランティアという良いイメージ。最近の悪いニュースで、良い団体ばかりではないということがわかった。	女性	40 歳代
6	問題点を見つけて、それを解決する為に、活動している団体というイメージ。詳しくはわかりません。そういう活動をされている方の事は素晴らしいと思っています。（自分にはできないので。）	女性	50 歳代
7	とても良い活動だと思う。自分も参加する事により社会勉強にもなったし、活動を通して友達もできた。	女性	20 歳代
8	自発的に社会への奉仕、貢献活動にかかわりを持つという事なので良いイメージしかない。	女性	60 歳代
9	営利目的ではなく、地域の人たちに向けた活動を行っていて良いイメージがある。	男性	10 歳代
10	行政ができない事、できていない所を埋めていく事と思っている。このような団体に、もう少し国から支援があれば良いかと何時も思っています。行政がもっと無駄な所をはぶいて、各団体にお金をまわして欲しい。各団体は、やりくりして運営してると思う。NPOがアメリカで設立させたが、あまり当初から良い方向には行っていないように思う。	女性	70 歳以上

【2. 災害救助活動について】

No.	意見	性別	年代
1	人を助けてくれる（特に災害時のとき）	男性	60 歳代
2	社会に役立つ活動、とくに災害ボランティアの方々の活動は、メディア等に見る毎、とても感心しています。	男性	60 歳代
3	災害時などボランティアが重要。	女性	50 歳代

【3. あまり良くない印象について】

No.	意見	性別	年代
1	良い事をしているから、偉いと思って考えなどを押し付けてくる感じがする。田舎になればなるほど、地域の間人間関係が濃くて半強制的な圧力を感じるし、する人としらない人で温度差が激しい。	女性	40 歳代
2	・一生懸命に尽くしている人々もいれば、助成金等を最大限使って（民間であれば資金を投入するところ）『上手に』商売をしているところもある。経営が成り立たないのは法人たる目的に反するけれど、原資＝血税であるので、公平性に疑問を感じるケースがある。・商売や、宗教につながっているであろう団体の見極めが難しい。公共のイベントで耳障りの良いことを訴える団体にも、疑わしい団体がある。	女性	50 歳代
3	一部は健全な団体だと思うが、一部の行動によってよい印象は抱いていない。	男性	20 歳代
4	公金を無駄に使っている団体があり、問題になっている。本当に必要な団体なのか、団体の資金、活動を監視することができるのか、法人や団体を作ることだけを目的とし、公金を無駄にしているのではないか。疑問です。	男性	70 歳以上
5	NPOという団体が多すぎるため、不信感がある。←何を信じていいかわからない。	女性	60 歳代
6	NPO＝ボランティアとは良い団体というイメージがあるがNPO法人を利用して不正に利益を得ている等のニュースもあり、悪いイメージもある。	女性	40 歳代

【4. 情報発信について】

No.	意見	性別	年代
1	不信感しかない。何をしているのか、活動内容がわからない。	男性	40 歳代
2	実際に社会のためになっている団体と、存続のためだけに実績を集めている様な、見せかけの団体とが混在しており、一般的に名の知れた団体以外はいざ調べてみなければ両者のどちらなのかわからないため、疑いの目を向けてしまう。	男性	20 歳代
3	閉鎖的、イメージがわきにくい。	男性	30 歳代
4	県や市などの関連のボランティア団体なら、わかりやすいが、一般の団体はどんな活動をしているのかわかりにくい。	女性	40 歳代
5	NPO（活動団体、ボランティア）は何を行っているのか、すぐには理解しづらい。又会費及び寄付などの使い道が解からないだけです。	女性	70 歳以上
6	悪いイメージはないけれど、はっきり言って何なのかよくわからない。	女性	60 歳代
7	活動の状況がわからない。（情報発信が感じられない。）	男性	70 歳以上
8	多種多様なNPOがあり、信頼できる法人か否か判断できる材料が乏しい。	女性	50 歳代
9	社会貢献に、役立っている事は、理解出来ますが、もっと個人に対応出来る情報（行き渡る情報）が、必要なのではないかと思います。私が勤めている会社も活動に参加している事は存じております。	女性	60 歳代
10	市民活動やいままでの活動はわかりやすいのですがNPO法人になるといろいろな団体があってよく理解が出来ません。どんなNPOがあるのか一覧表があればいいのですが。	女性	60 歳代
11	自宅でくわしい情報が伝わらないので、よくわからない。市民での活動団体は子供食堂や食料支援など毎月やっているが、他の団体のことは、くわしい情報がわからない。	女性	70 歳以上
12	身近に活動を確認したことがなく、意識して自分自身積極的に活動にも参加しないのでイメージはあまりわかない。参加チラシなどが回って来た時、地域の清掃活動に出る程度なので、もっと広く広報するなどが必要かと・・・！	女性	60 歳代

問12 社会にとってNPOは必要だと思うか

あなたは、社会にとってNPO（NPO法人、市民活動団体、ボランティア団体）は必要だと思いますか。（当てはまるもの1つに○印）

全体では、「必要だと思う」（58.1%）が最も多く、次いで「どちらとも言えない」（32.1%）、「特に必要とは思わない」（5.0%）となっている。

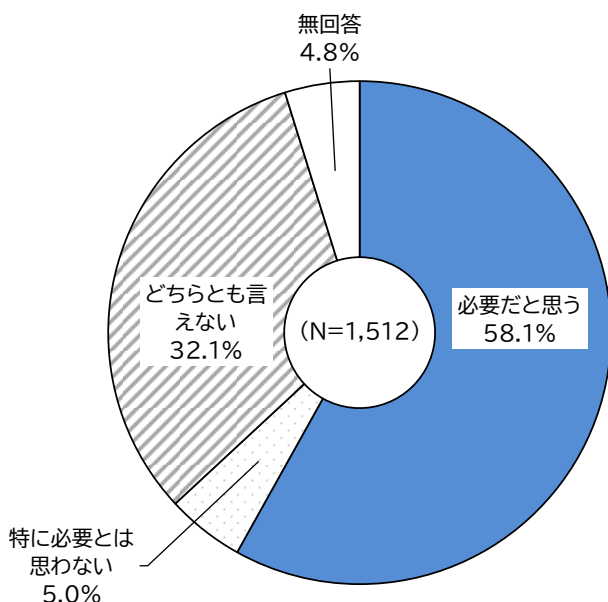
性別にみると、男性、女性ともに「必要だと思う」が5割以上となっており、その他は「必要だと思う」、「どちらとも言えない」が同率で40.0%となっている。

年代別にみると、すべての年代で「必要だと思う」が5割以上となっており、特に60歳代は62.0%と最も多くなっている。

婚姻状況別にみると、すべての婚姻状況で「必要だと思う」が5割以上となっており、特に既婚は60.6%と最も多くなっている。

居住地別にみると、すべての居住地で「必要だと思う」が4割以上となっており、特に嶺北広域圏は68.0%と最も多くなっている。

図表 社会にとってNPOは必要だと思うか

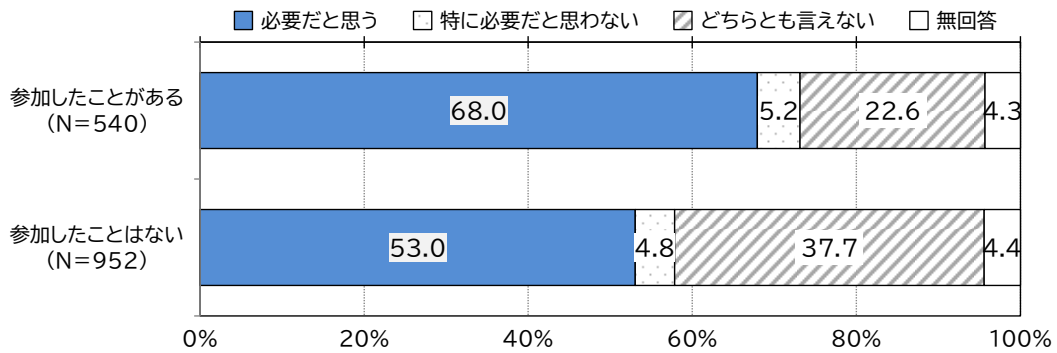


	調査数 (人)	(1) 必要だと思う	(2) 特に必要とは思わない	(3) どちらとも言えない	無回答
【表の見方】					
比率 (%)					
網掛け=		1位	2位		
全体	1,512	58.1	5.0	32.1	4.8
性別					
男性	626	55.1	6.9	32.9	5.1
女性	877	60.3	3.5	31.7	4.4
その他	5	40.0	20.0	40.0	-
年代					
10歳代	22	59.1	-	40.9	-
20歳代	84	61.9	4.8	33.3	-
30歳代	138	51.4	5.1	41.3	2.2
40歳代	212	54.2	7.1	36.8	1.9
50歳代	265	58.1	4.5	34.3	3.0
60歳代	358	62.0	5.9	27.9	4.2
70歳以上	431	58.2	3.5	28.5	9.7
婚姻状況					
未婚	343	53.4	6.1	38.2	2.3
既婚	949	60.6	4.6	30.2	4.5
その他	210	55.7	4.8	30.5	9.0
お住まいの場所					
高知市	715	57.8	4.3	33.4	4.5
安芸広域圏	83	49.4	7.2	37.3	6.0
南国・香美広域圏	245	62.0	6.5	28.2	3.3
嶺北広域圏	25	68.0	-	28.0	4.0
仁淀川広域圏	118	53.4	3.4	35.6	7.6
高吾北広域圏	38	57.9	5.3	28.9	7.9
高幡広域圏	106	57.5	6.6	30.2	5.7
幡多広域圏	178	59.6	5.1	30.9	4.5

(★問12×問8のクロス分析)

ボランティア活動の参加の有無との関係を見ると、ボランティア活動に参加したことがあると回答した方は「必要だと思う」が68.0%となっており、一方で、ボランティア活動に参加したことはないと回答した方は「必要だと思う」が53.0%、「どちらとも言えない」が37.7%となっており、ボランティア活動に参加したことがある人の方がNPOは必要だと思うと回答した割合が高いことが伺える。

図 社会にとってNPOは必要だと思うか - ボランティア活動の参加の有無 -



副問1 NPOに求めるサービス

副問1（問12の回答で「1 必要だと思う」と回答した方にお聞きします。）

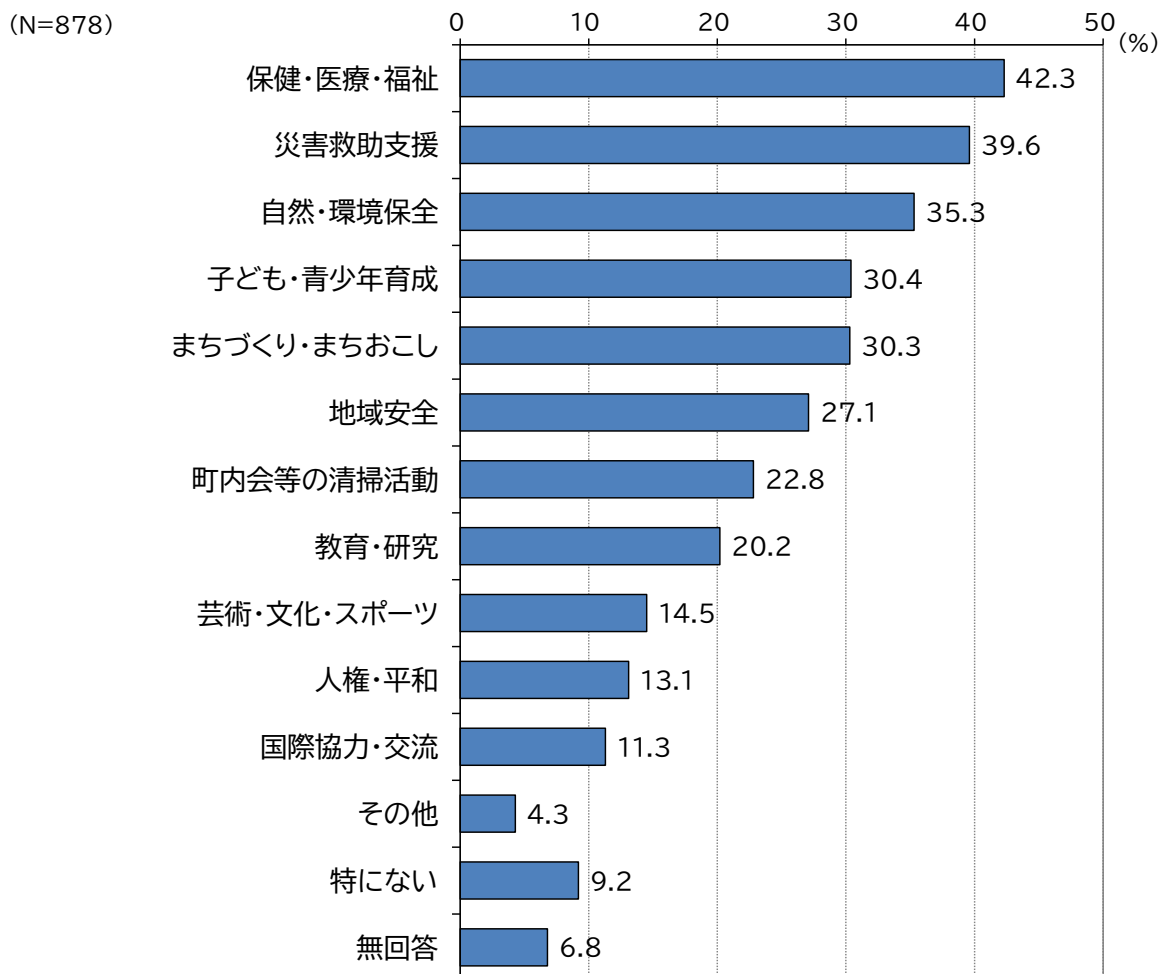
あなたが、NPO（NPO法人、市民活動団体、ボランティア団体）に求めるサービスはどんなことですか。（サービス提供を希望する分野を選択し、（ ）内にサービス内容を記載）（当てはまるものすべてに記載）

全体では、「保健・医療・福祉」（42.3%）が最も多く、次いで「災害救助支援」（39.6%）、「自然・環境保全」（35.3%）、「子ども・青少年育成」（30.4%）、「まちづくり・まちおこし」（30.3%）となっている。

また、「その他」の主だった意見は、「経済的に貧しい人々へのサポート」、「全ての項目に渡り情報が少ない」、「動物愛護活動」などとなっている。

また、サービス提供を希望する分野のサービス内容として、「保健・医療・福祉」では高齢者・障害者サービスや送迎等の移動支援、「災害救助支援」では災害時の地域における助け合いや救援・救護ネットワークづくり、「自然・環境保全」では河川の清掃・浄化やリサイクル運動、動物の保護、「子ども・青少年育成」ではいじめ相談や児童虐待防止、「まちづくり・まちおこし」では商店街の活性化や町並み、お祭などの地域伝統文化の保存といった意見が多くみられた。

図 NPOに求めるサービス



性別にみると、男性は「災害救助支援」(39.1%)、女性は「保健・医療・福祉」(45.4%)がそれぞれ最も多くなっている。

年代別にみると、50歳代以上は「保健・医療・福祉」、10歳代、20歳代は「災害救助支援」、「まちづくり・まちおこし」(同率)、30歳代は「自然・環境保全」(45.1%)、40歳代は「まちづくり・まちおこし」(38.3%)がそれぞれ最も多くなっている。

婚姻状況別にみると、未婚は「災害救助支援」(39.9%)、既婚、その他は「保健・医療・福祉」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地別にみると、高知市、安芸広域圏、嶺北広域圏、仁淀川広域圏、幡多広域圏は「保健・医療・福祉」、南国・香美広域圏、高吾北広域圏は「災害救助支援」、高幡広域圏は「保健・医療・福祉」、「災害救助支援」(同率で44.3%)がそれぞれ最も多くなっている。

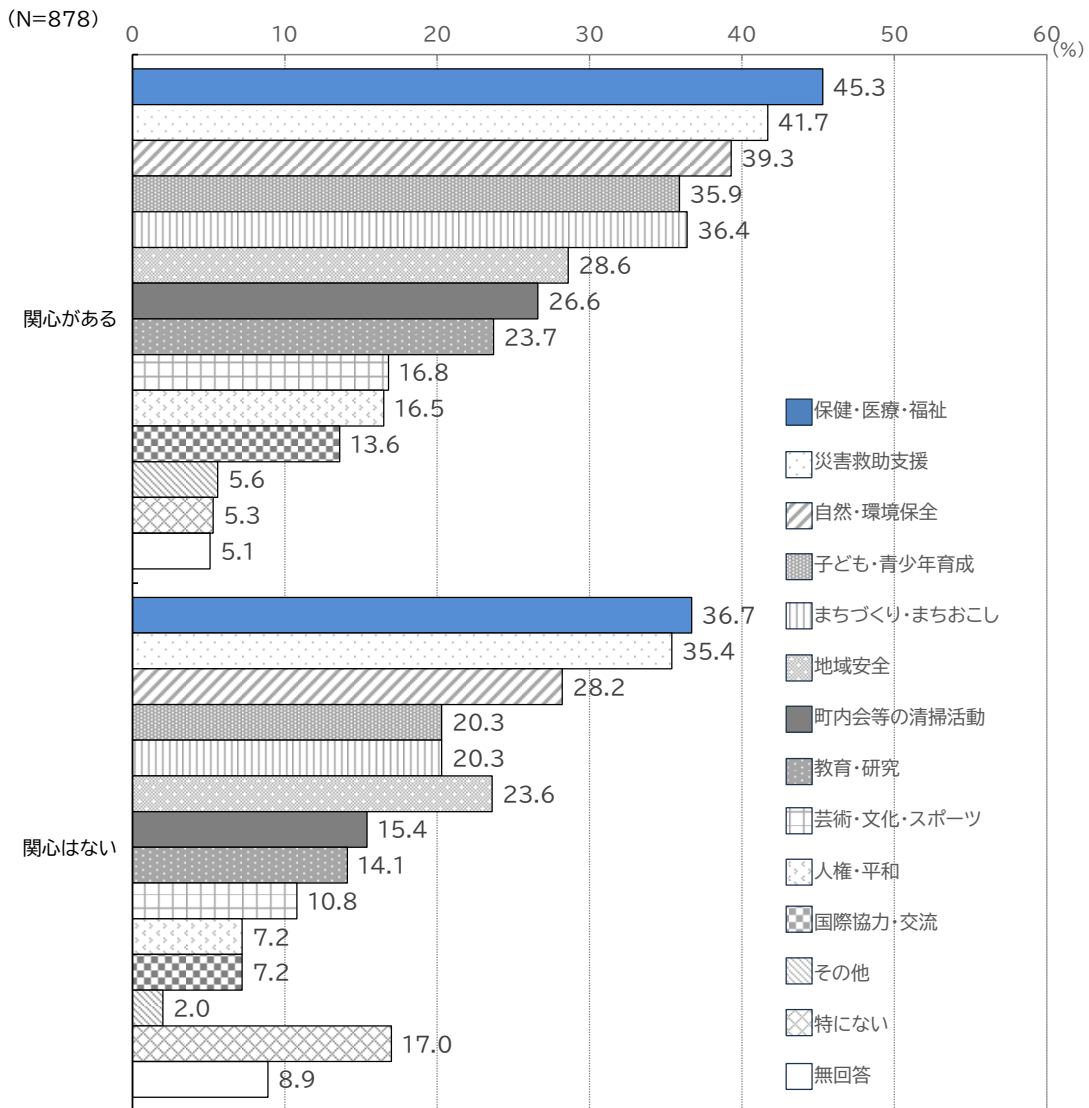
表 NPOに求めるサービス

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数 (人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	無回答	
		保健・医療・福祉	災害救助支援	自然・環境保全	子ども・青少年育成	まちづくり・まちおこし	地域安全	町内会等の清掃活動	教育・研究	芸術・文化・スポーツ	人権・平和	国際協力・交流	その他	特になし		
全体	878	42.3	39.6	35.3	30.4	30.3	27.1	22.8	20.2	14.5	13.1	11.3	4.3	9.2	6.8	
性別	男性	345	37.4	39.1	30.4	25.2	29.3	28.4	25.8	17.4	16.2	11.9	9.3	4.9	12.5	7.0
	女性	529	45.4	39.7	38.4	33.6	31.0	25.9	20.8	21.9	13.2	13.8	12.3	4.0	7.0	6.8
	その他	2	100.0	100.0	50.0	50.0	-	100.0	50.0	-	-	50.0	100.0	-	-	-
年代	10歳代	13	23.1	38.5	30.8	23.1	38.5	23.1	15.4	23.1	7.7	15.4	23.1	-	7.7	-
	20歳代	52	32.7	46.2	25.0	30.8	46.2	23.1	13.5	28.8	19.2	15.4	13.5	3.8	11.5	-
	30歳代	71	38.0	39.4	45.1	38.0	39.4	28.2	25.4	38.0	19.7	15.5	18.3	4.2	12.7	4.2
	40歳代	115	37.4	35.7	33.9	32.2	38.3	32.2	17.4	27.8	17.4	11.3	12.2	7.0	12.2	2.6
	50歳代	154	53.9	44.2	40.3	37.7	28.6	31.2	24.0	18.8	17.5	14.9	14.9	2.6	7.1	5.8
	60歳代	222	44.1	43.2	31.5	27.5	24.3	26.1	21.6	17.6	12.2	11.7	7.7	3.6	9.0	8.6
	70歳以上	251	39.8	34.3	35.9	25.9	26.7	23.9	27.1	12.7	11.2	12.7	8.8	5.2	8.0	10.4
婚姻状況	未婚	183	37.7	39.9	30.1	28.4	31.1	25.1	14.8	21.3	13.7	12.6	12.6	4.9	12.0	6.6
	既婚	575	43.3	40.5	36.9	31.7	31.1	28.3	25.6	20.3	14.6	13.9	11.0	4.0	8.3	5.9
	その他	117	44.4	35.9	36.8	28.2	25.6	24.8	22.2	17.9	15.4	10.3	11.1	5.1	9.4	10.3
お住まいの場所	高知市	413	42.4	40.0	35.6	34.1	30.3	30.5	23.5	22.0	16.2	14.5	11.9	4.4	9.4	7.3
	安芸広域圏	41	41.5	24.4	22.0	22.0	17.1	12.2	14.6	7.3	2.4	-	7.3	2.4	19.5	12.2
	南国・香美広域圏	152	38.8	40.8	40.1	26.3	26.3	30.3	21.1	18.4	14.5	9.9	10.5	3.9	9.2	7.2
	嶺北広域圏	17	52.9	29.4	17.6	11.8	11.8	17.6	11.8	5.9	11.8	-	5.9	-	11.8	-
	仁淀川広域圏	63	50.8	42.9	34.9	28.6	36.5	31.7	22.2	20.6	14.3	15.9	11.1	9.5	4.8	1.6
	高吾北広域圏	22	31.8	40.9	27.3	27.3	27.3	18.2	18.2	9.1	13.6	13.6	9.1	4.5	27.3	4.5
	高幡広域圏	61	44.3	44.3	39.3	26.2	39.3	13.1	23.0	23.0	9.8	11.5	9.8	8.2	3.3	6.6
	幡多広域圏	106	42.5	40.6	35.8	32.1	36.8	24.5	28.3	23.6	16.0	18.9	14.2	0.9	6.6	6.6

(★問1 2副問1 × 問6のクロス分析)

ボランティア活動の関心度との関係を見ると、関心がある、関心はないともに「保健・医療・福祉」が最も多く、次いで「災害救助支援」、「自然・環境保全」となっているが、ボランティア活動に関心があると回答した人の方がNPOに求めるサービスの割合が高いことが伺える。

図 NPOに求めるサービス - ボランティア活動の関心度との関係 -



4. 寄附について

問13 NPOへの寄附の有無（令和4年内）

あなたは、昨年一年間（令和4年1月～12月）にNPO（NPO法人、市民活動団体、ボランティア団体）に寄附をしたことがありますか。（当てはまるもの1つに○印）

全体では、「ある」（18.2%）、「ない」（77.4%）となっている。

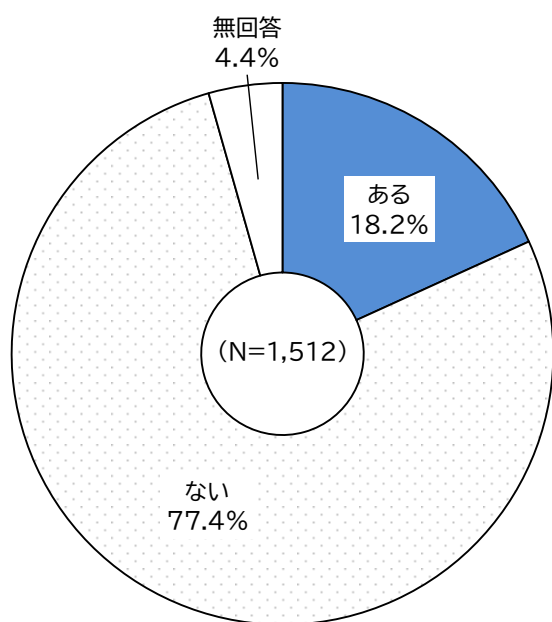
性別にみると、すべての性別で「ない」が7割以上となっており、「ある」は男性（15.5%）より女性（20.2%）の方が多くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「ない」が7割以上となっており、「ある」は50歳代以上で2割程度と他の年代と比べて多くなっている。

婚姻状況別にみると、すべての婚姻状況で「ない」が7割以上となっており、「ある」は既婚（20.8%）で多くなっている。

居住地別にみると、すべての居住地で「ない」が7割以上となっており、「ある」は幡多広域圏（22.5%）で他の居住地と比べて多くなっている。

図表 NPOへの寄附の有無（令和4年内）

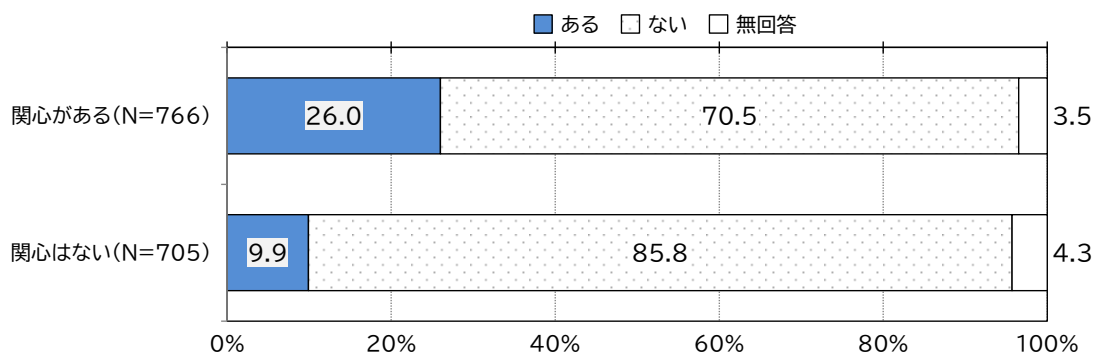


【表の見方】		調査数 (人)	(1)		(2)	無回答
比率 (%)	ある		ない			
網掛け=						
	1位					
	2位					
全体		1,512	18.2	77.4	4.4	
性別	男性	626	15.5	81.0	3.5	
	女性	877	20.2	74.9	4.9	
	その他	5	-	100.0	-	
年代	10歳代	22	4.5	95.5	-	
	20歳代	84	11.9	86.9	1.2	
	30歳代	138	12.3	84.8	2.9	
	40歳代	212	15.1	83.0	1.9	
	50歳代	265	20.8	77.4	1.9	
	60歳代	358	19.8	76.3	3.9	
	70歳以上	431	20.4	70.8	8.8	
婚姻状況	未婚	343	13.1	83.4	3.5	
	既婚	949	20.8	75.2	4.0	
	その他	210	15.2	78.1	6.7	
お住まいの場所	高知市	715	16.6	79.3	4.1	
	安芸広域圏	83	16.9	79.5	3.6	
	南国・香美広域圏	245	20.8	75.5	3.7	
	嶺北広域圏	25	12.0	80.0	8.0	
	仁淀川広域圏	118	20.3	73.7	5.9	
	高吾北広域圏	38	7.9	89.5	2.6	
	高幡広域圏	106	18.9	73.6	7.5	
	幡多広域圏	178	22.5	73.6	3.9	

(★問13×問6のクロス分析)

ボランティア活動の関心度との関係を見ると、ボランティア活動に関心があると回答した方は「NPOに寄附をしたことがある」が26.0%となっており、一方で、ボランティア活動に関心はないと回答した方は「NPOに寄附をしたことがある」が9.9%となっており、ボランティア活動に関心がある人の方がNPOに寄附をしたことがある割合が高いことが伺える。

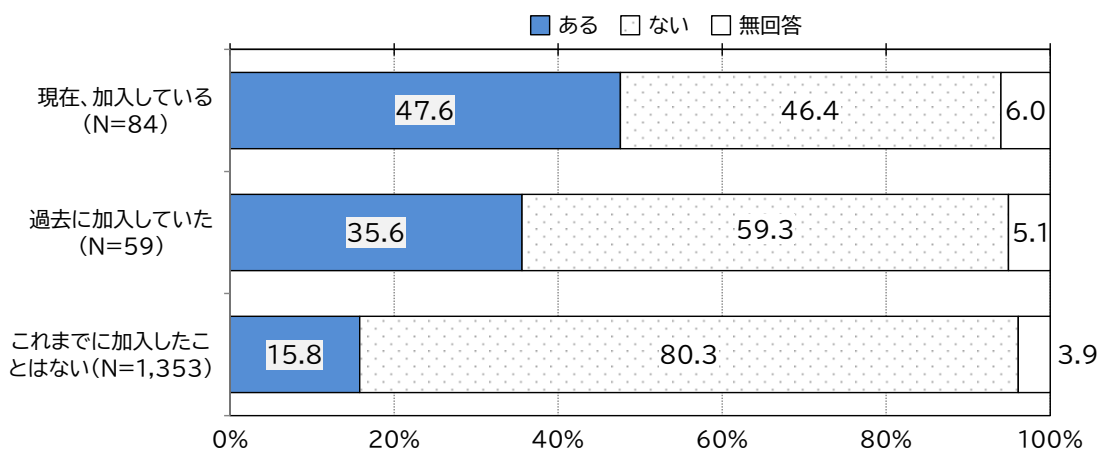
図 NPOへの寄附の有無（令和4年内）
－ボランティア活動の関心度との関係－



(★問13×問7のクロス分析)

NPO法人や市民活動団体、ボランティア団体への加入の有無との関係を見ると、現在加入していると回答した方は「NPOに寄附をしたことがある」が47.6%、過去に加入していたと回答した方は「NPOに寄附をしたことがある」が35.6%、これまで加入したことはないと回答した方は「NPOに寄附をしたことがある」が15.8%となっており、現在加入している人がNPOに寄附をしたことがある割合が高いことが伺える。

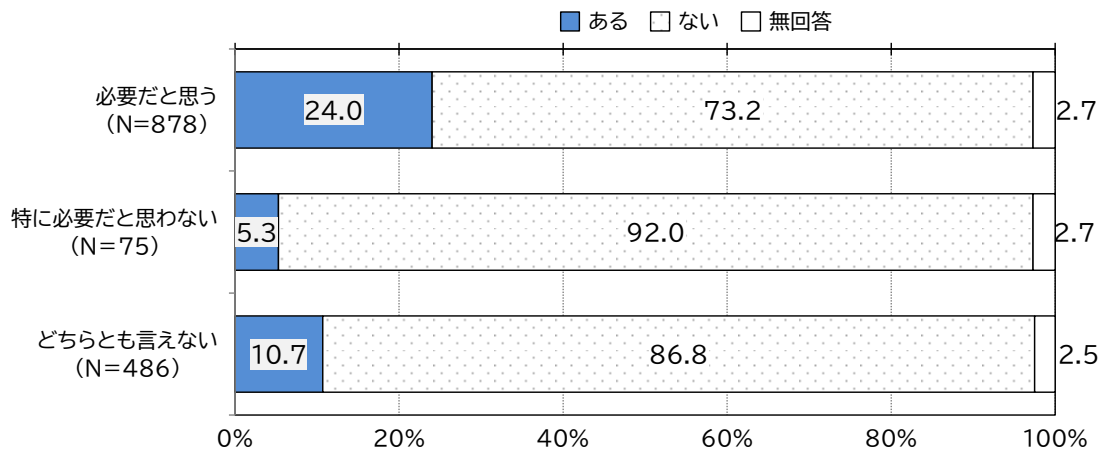
図 NPOへの寄附の有無（令和4年内）
－NPO法人や市民活動団体、ボランティア団体への加入の有無との関係－



(★問13×問12のクロス分析)

社会にとってNPOは必要だと思うかとの関係を見ると、NPOは必要だと思うと回答した人は「NPOに寄附をしたことがある」が24.0%、NPOは特に必要だと思わないと回答した方は「NPOに寄附をしたことがある」が5.3%、どちらとも言えないと回答した方は「NPOに寄附をしたことがある」が10.7%となっており、NPOは必要だと思う人がNPOに寄附をしたことがある割合が高いことが伺える。

図 NPOへの寄附の有無（令和4年内）
－社会にとってNPOは必要だと思うかとの関係－



副問1 行った寄附の内容

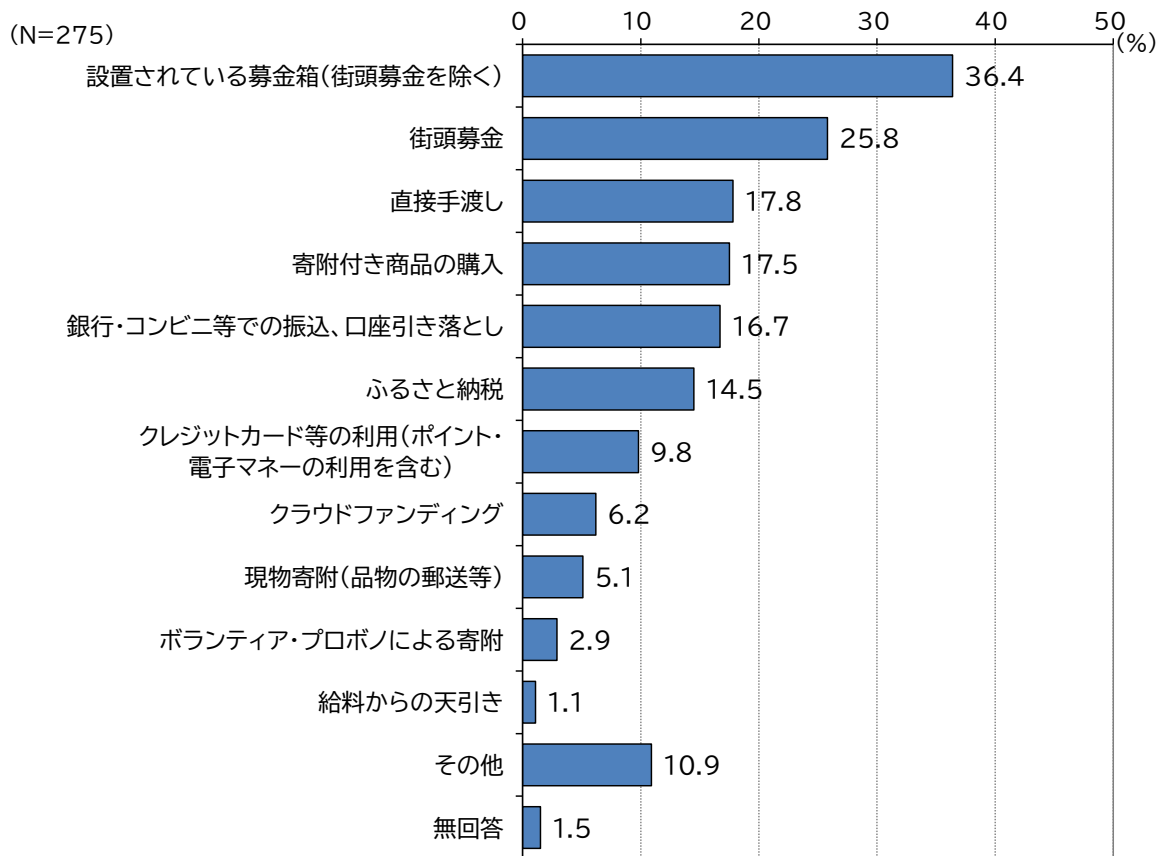
副問1（問13の回答で「1 ある」と回答した方にお聞きします。）

あなたが行った寄附はどのようなものですか。（当てはまるものすべてに○印）

全体では、「設置されている募金箱（街頭募金を除く）」（36.4%）が最も多く、次いで「街頭募金」（25.8%）、「直接手渡し」（17.8%）、「寄附付き商品の購入」（17.5%）、「銀行・コンビニ等での振込、口座引き落とし」（16.7%）、「ふるさと納税」（14.5%）となっている。

また、「その他」の主だった意見は、「赤い羽根募金」、「生協の災害募金」、「町内会（自治組織を通じて）」などとなっている。

図 行った寄附の内容



性別にみると、男性、女性ともに「設置されている募金箱（街頭募金を除く）」が最も多く、次いで「街頭募金」となっている。

年代別にみると、70歳以上を除くすべての年代で「設置されている募金箱（街頭募金を除く）」が最も多く、70歳以上は「街頭募金」（37.5%）が最も多くなっている。

婚姻状況別にみると、未婚、既婚は「設置されている募金箱（街頭募金を除く）」が最も多く、その他は「設置されている募金箱（街頭募金を除く）」、「銀行・コンビニ等での振込、口座引き落とし」（同率で31.3%）が最も多くなっている。

居住地別にみると、高知市、仁淀川広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏は「設置されている募金箱（街頭募金を除く）」、安芸広域圏、南国・香美広域圏は「街頭募金」、嶺北広域圏は「直接手渡し」（66.7%）がそれぞれ最も多くなっている。

表 行った寄附の内容

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	無回答
		<設置されている募金箱（街頭募金を除く）>	街頭募金	直接手渡し	寄附付き商品の購入	銀行・コンビニ等での振込、口座引き落とし	ふるさと納税	クレジットカード等の利用（ポイント・電子マネーの利用を含む）	クラウドファンディング	現物寄附（品物の郵送等）	ボランティア・プロボノによる寄附	給料からの天引き	その他	
	275	36.4	25.8	17.8	17.5	16.7	14.5	9.8	6.2	5.1	2.9	1.1	10.9	1.5
性別														
男性	97	33.0	29.9	14.4	14.4	13.4	13.4	11.3	6.2	3.1	2.1	1.0	13.4	1.0
女性	177	38.4	23.7	19.8	19.2	18.6	15.3	8.5	6.2	6.2	3.4	1.1	9.6	1.7
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代														
10歳代	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	10	70.0	-	-	-	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-
30歳代	17	47.1	17.6	17.6	17.6	11.8	35.3	5.9	17.6	5.9	-	-	-	-
40歳代	32	40.6	18.8	15.6	18.8	12.5	25.0	21.9	9.4	-	-	-	6.3	-
50歳代	55	36.4	10.9	14.5	30.9	14.5	16.4	14.5	10.9	7.3	5.5	1.8	12.7	1.8
60歳代	71	32.4	31.0	15.5	15.5	22.5	19.7	9.9	4.2	5.6	5.6	2.8	9.9	1.4
70歳以上	88	31.8	37.5	25.0	12.5	14.8	1.1	4.5	2.3	5.7	1.1	-	15.9	2.3
婚姻状況														
未婚	45	46.7	8.9	4.4	13.3	13.3	22.2	4.4	8.9	-	-	-	6.7	-
既婚	197	35.0	29.4	21.8	19.3	15.2	14.7	11.2	5.6	6.1	4.1	1.5	12.2	1.5
その他	32	31.3	28.1	12.5	12.5	31.3	3.1	9.4	6.3	6.3	-	-	9.4	-
お住まいの場所														
高知市	119	33.6	23.5	12.6	16.0	21.0	15.1	12.6	6.7	1.7	4.2	2.5	8.4	1.7
安芸広域圏	14	21.4	42.9	28.6	7.1	-	7.1	-	7.1	7.1	-	-	14.3	7.1
南国・香美広域圏	51	33.3	35.3	29.4	15.7	17.6	19.6	11.8	3.9	7.8	2.0	-	9.8	-
嶺北広域圏	3	-	-	66.7	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-
仁淀川広域圏	24	45.8	8.3	4.2	8.3	20.8	12.5	4.2	8.3	-	-	-	16.7	4.2
高吾北広域圏	3	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
高幡広域圏	20	40.0	35.0	30.0	25.0	10.0	10.0	5.0	-	10.0	-	-	25.0	-
幡多広域圏	40	50.0	22.5	12.5	30.0	10.0	15.0	10.0	7.5	10.0	2.5	-	7.5	-

副問2 寄附をしたNPOの活動分野

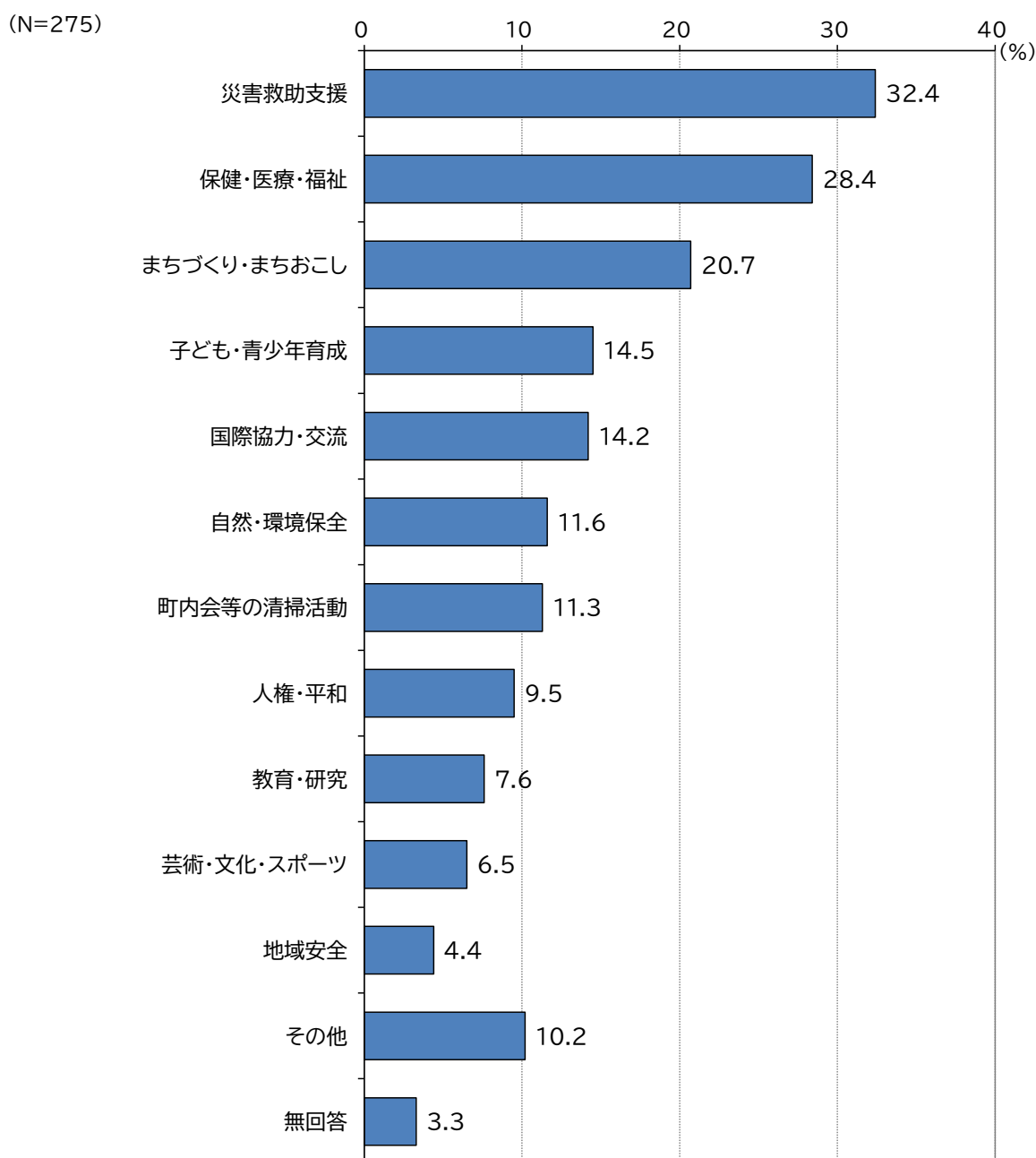
副問2（問13の回答で「1 ある」と回答した方にお聞きします。）

あなたが寄附をしたNPO（NPO法人、市民活動団体、ボランティア団体）は、どのような活動分野の団体ですか。（当てはまるものすべてに○印）

全体では、「災害救助支援」（32.4%）が最も多く、次いで「保健・医療・福祉」（28.4%）、「まちづくり・まちおこし」（20.7%）、「子ども・青少年育成」（14.5%）、「国際協力・交流」（14.2%）となっている。

また、「その他」の主だった意見は、「動物愛護、フード等の購入で寄附」、「赤い羽根募金」などとなっている。

図 寄附をしたNPOの活動分野



性別にみると、男性、女性ともに「災害救助支援」が最も多く、次いで「保健・医療・福祉」となっている。

年代別にみると、20歳代、70歳以上は「災害救助支援」、10歳代、40～60歳代は「保健・福祉・医療」、30歳代は「まちづくり・まちおこし」(47.1%)がそれぞれ最も多くなっている。

婚姻状況別にみると、未婚、その他は「災害救助支援」、既婚は「保健・福祉・医療」(32.5%)がそれぞれ最も多くなっている。

居住地別にみると、高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、仁淀川広域圏、高幡広域圏は「災害救助支援」、嶺北広域圏、幡多広域圏は「保健・福祉・医療」、高吾北広域圏は「まちづくり・まちおこし」(66.7%)がそれぞれ最も多くなっている。

表 寄附をしたNPOの活動分野

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数 (人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	無回答
		災害救助支援	保健・医療・福祉	まちづくり・まちおこし	子ども・青少年育成	国際協力・交流	自然・環境保全	町内会等の清掃活動	人権・平和	教育・研究	芸術・文化・スポーツ	地域安全	その他	
全体	275	32.4	28.4	20.7	14.5	14.2	11.6	11.3	9.5	7.6	6.5	4.4	10.2	3.3
性別	男性	30.9	26.8	20.6	17.5	14.4	15.5	10.3	12.4	10.3	5.2	6.2	7.2	4.1
	女性	33.3	28.8	20.9	13.0	14.1	9.6	11.9	7.9	6.2	7.3	3.4	11.9	2.8
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代	10歳代	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	10	50.0	10.0	10.0	20.0	10.0	10.0	-	10.0	20.0	20.0	-	-
	30歳代	17	41.2	17.6	47.1	23.5	5.9	17.6	11.8	17.6	23.5	-	-	-
	40歳代	32	18.8	28.1	25.0	18.8	15.6	9.4	6.3	9.4	3.1	6.3	3.1	15.6
	50歳代	55	29.1	32.7	16.4	12.7	20.0	12.7	5.5	9.1	5.5	3.6	3.6	18.2
	60歳代	71	28.2	36.6	28.2	14.1	8.5	9.9	9.9	7.0	9.9	7.0	7.0	9.9
	70歳以上	88	38.6	22.7	12.5	11.4	17.0	12.5	19.3	10.2	4.5	8.0	4.5	6.8
婚姻状況	未婚	45	37.8	13.3	24.4	15.6	11.1	13.3	2.2	4.4	6.7	6.7	4.4	6.7
	既婚	197	30.5	32.5	22.3	14.7	15.2	10.7	12.2	11.2	8.6	5.1	4.6	10.7
	その他	32	34.4	21.9	3.1	12.5	12.5	15.6	15.6	6.3	3.1	15.6	3.1	12.5
お住まいの場所	高知市	119	31.9	20.2	21.8	18.5	17.6	10.1	10.1	9.2	6.7	6.7	4.2	10.9
	安芸広域圏	14	35.7	28.6	-	14.3	-	21.4	14.3	-	14.3	-	-	7.1
	南国・香美広域圏	51	43.1	41.2	23.5	11.8	9.8	11.8	23.5	15.7	7.8	13.7	9.8	2.0
	嶺北広域圏	3	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	仁淀川広域圏	24	25.0	16.7	12.5	8.3	20.8	16.7	-	12.5	4.2	-	4.2	16.7
	高吾北広域圏	3	33.3	33.3	66.7	-	33.3	33.3	-	-	33.3	-	33.3	33.3
	幡多広域圏	20	45.0	25.0	35.0	20.0	15.0	10.0	15.0	5.0	10.0	5.0	-	-
高幡広域圏	40	20.0	40.0	17.5	10.0	10.0	10.0	5.0	7.5	7.5	5.0	-	17.5	

副問3 NPOに寄附をした理由

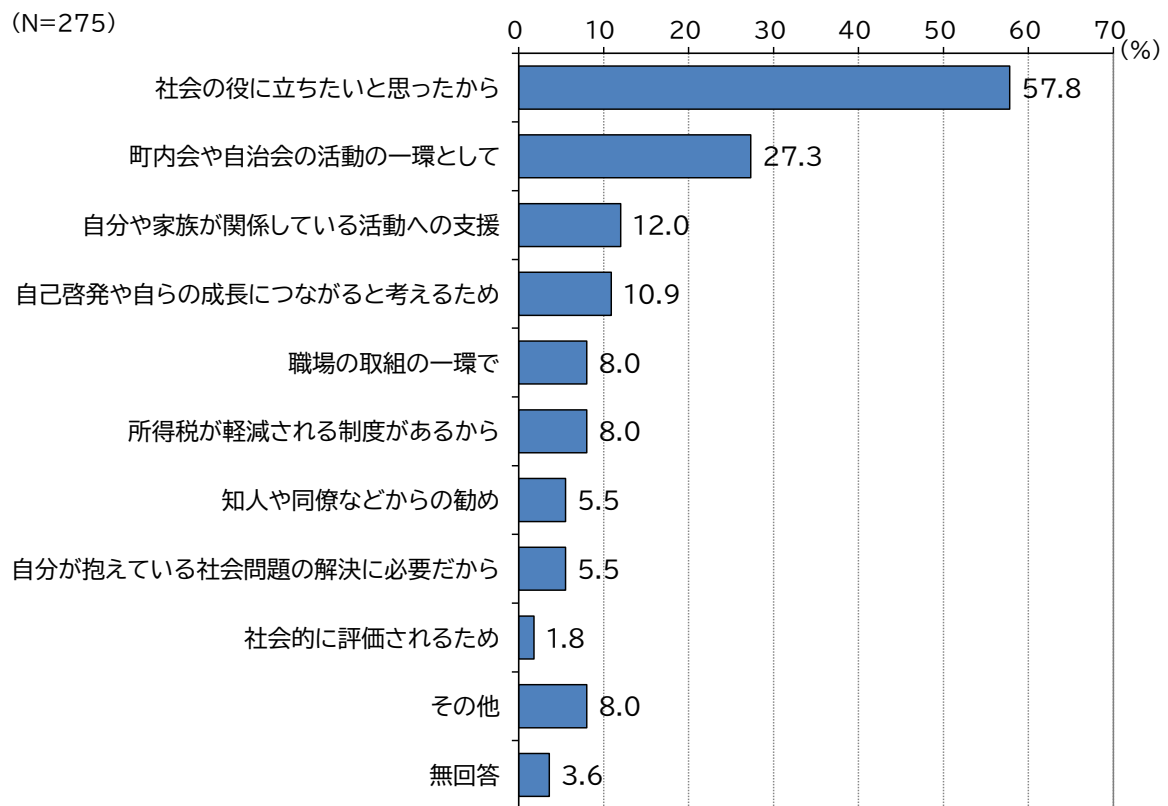
副問3（問13の回答で「1 ある」と回答した方にお聞きします。）

あなたがNPO（NPO法人、市民活動団体、ボランティア団体）に寄附をした理由は、何ですか。
（当てはまるものすべてに○印）

全体では、「社会の役に立ちたいと思ったから」（57.8%）が最も多く、次いで「町内会や自治会の活動の一環として」（27.3%）、「自分や家族が関係している活動への支援」（12.0%）、「自己啓発や自らの成長につながると思うため」（10.9%）となっている。

また、「その他」の主だった意見は、「動物が好きだから」、「団体の活動内容に共感したから」、「お世話になったから」などとなっている。

図 NPOに寄附をした理由



性別にみると、男性、女性ともに「社会の役に立ちたいと思ったから」が最も多く、次いで「町内会や自治会の活動の一環として」になっている。

年代別にみると、10歳代を除くすべての年代で「社会の役に立ちたいと思ったから」が最も多く、10歳代は「社会の役に立ちたいと思ったから」、「自分や家族が関係している活動への支援」が同率で100.0%となっている。

婚姻状況別にみると、すべての婚姻状況で「社会の役に立ちたいと思ったから」が最も多くなっている。

居住地別にみると、高吾北広域圏を除くすべての居住地で「社会の役に立ちたいと思ったから」が最も多く、高吾北広域圏は「社会の役に立ちたいと思ったから」、「町内会や自治会の活動の一環として」が同率で66.7%となっている。

表 NPOに寄附をした理由

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)		
		調査数(人)	社会の役に立ちたいと思ったから	町内会や自治会の活動の一環として	自分や家族が関係している活動への支援	自己啓発や自らの成長につながるため	職場の取組の一環で	所得税が軽減される制度があるから	知人や同僚などからの勧め	自分が抱えている社会問題の解決に必要な	社会的に評価されるため	その他	無回答
【表の見方】													
比率(%)													
網掛け=													
			1位										
			2位										
全体		275	57.8	27.3	12.0	10.9	8.0	8.0	5.5	5.5	1.8	8.0	3.6
性別	男性	97	57.7	29.9	8.2	12.4	10.3	5.2	3.1	7.2	3.1	5.2	4.1
	女性	177	58.2	26.0	14.1	10.2	6.8	9.6	6.8	4.5	1.1	9.0	3.4
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代	10歳代	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	10	80.0	-	-	20.0	-	-	-	10.0	-	10.0	-
	30歳代	17	35.3	11.8	29.4	5.9	17.6	23.5	-	11.8	-	5.9	-
	40歳代	32	65.6	21.9	12.5	12.5	-	15.6	3.1	3.1	-	9.4	-
	50歳代	55	61.8	21.8	12.7	12.7	18.2	14.5	1.8	5.5	-	7.3	3.6
	60歳代	71	64.8	28.2	11.3	12.7	11.3	5.6	9.9	2.8	2.8	8.5	-
	70歳以上	88	47.7	38.6	9.1	8.0	1.1	-	6.8	6.8	2.3	8.0	9.1
婚姻状況	未婚	45	66.7	6.7	8.9	8.9	6.7	13.3	2.2	6.7	2.2	11.1	2.2
	既婚	197	55.8	32.0	14.7	12.2	8.1	7.6	5.1	5.6	2.0	7.1	4.6
	その他	32	59.4	25.0	-	6.3	6.3	-	12.5	3.1	-	9.4	-
お住まいの場所	高知市	119	58.8	19.3	5.9	15.1	7.6	10.9	6.7	6.7	1.7	10.1	1.7
	安芸広域圏	14	50.0	35.7	21.4	7.1	-	7.1	7.1	-	7.1	-	21.4
	南国・香美広域圏	51	45.1	43.1	21.6	5.9	9.8	7.8	3.9	7.8	-	7.8	-
	嶺北広域圏	3	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-
	仁淀川広域圏	24	66.7	8.3	12.5	4.2	4.2	4.2	-	8.3	-	12.5	8.3
	高吾北広域圏	3	66.7	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	高幡広域圏	20	55.0	35.0	10.0	20.0	10.0	-	5.0	5.0	10.0	5.0	10.0
	幡多広域圏	40	67.5	32.5	10.0	5.0	12.5	7.5	7.5	-	-	5.0	2.5

問14 NPOに寄附をしやすい金額（1回あたり）

あなたがNPO（NPO法人、市民活動団体、ボランティア団体）に寄附をしやすい金額は、1回あたり、いくらくらいまでですか。（当てはまるもの一つに○印）

全体では、「500円～1,000円未満」（42.9%）が最も多く、次いで「500円未満」（24.4%）、「1,000円～5,000円未満」（20.6%）となっている。

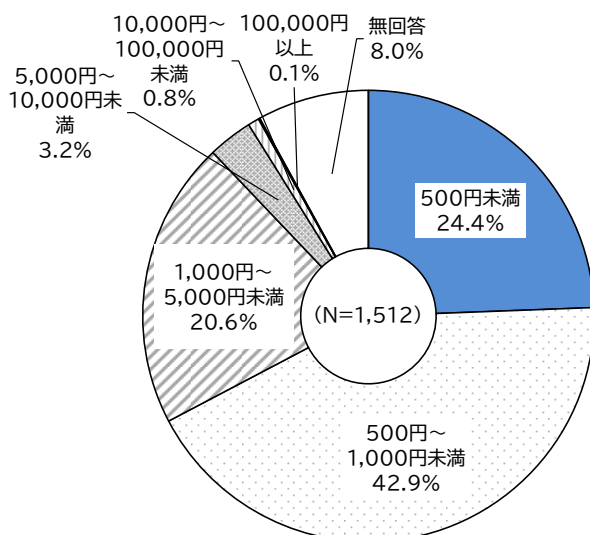
性別にみると、男性、女性ともに「500円～1,000円未満」、その他は「500円未満」、「500円～1,000円未満」（同率で40.0%）がそれぞれ最も多くなっている。

年代別にみると、10～20歳代「500円未満」、40歳代は「500円未満」、「500円～1,000円未満」（同率で37.3%）、30歳代、50歳代以上は「500円～1,000円未満」がそれぞれ最も多くなっている。

婚姻状況別にみると、すべての婚姻状況で「500円～1,000円未満」が最も多くなっている。

居住地別にみると、すべての居住地で「500円～1,000円未満」が最も多くなっている。

図表 NPOに寄附をしやすい金額（1回あたり）

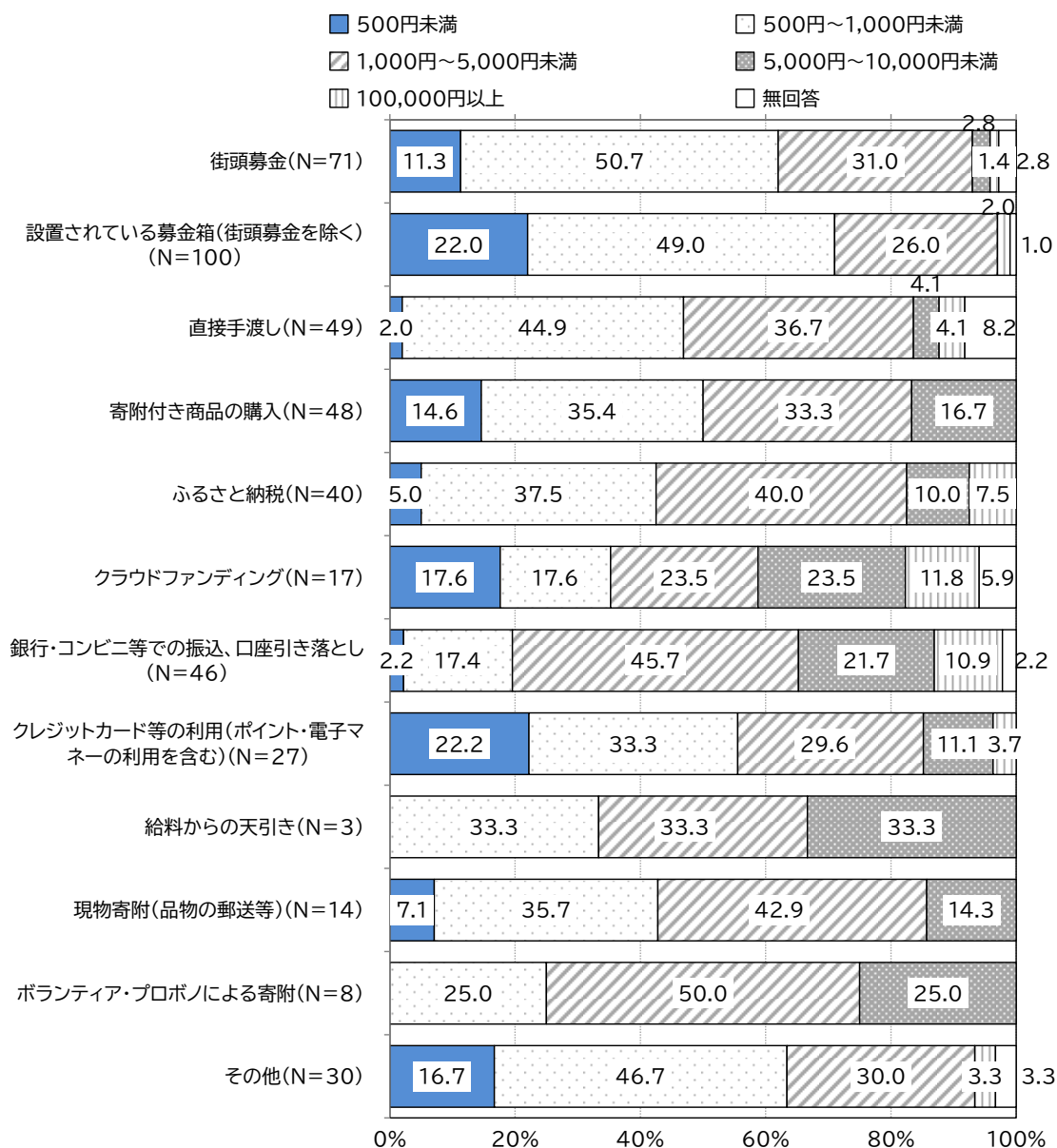


【表の見方】	調査数（人）	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	無回答
		500円未満	500円～1,000円未満	1,000円～5,000円未満	5,000円～10,000円未満	10,000円～100,000円未満	100,000円以上	
全体	1,512	24.4	42.9	20.6	3.2	0.8	0.1	8.0
性別								
男性	626	22.7	42.0	22.0	4.5	1.0	0.2	7.7
女性	877	25.7	43.4	19.7	2.4	0.6	-	8.2
その他	5	40.0	40.0	20.0	-	-	-	-
年代								
10歳代	22	45.5	40.9	13.6	-	-	-	-
20歳代	84	40.5	38.1	14.3	1.2	-	1.2	4.8
30歳代	138	37.0	44.2	13.8	1.4	-	-	3.6
40歳代	212	37.3	37.3	17.9	2.8	1.4	-	3.3
50歳代	265	26.8	39.6	21.9	5.3	0.4	-	6.0
60歳代	358	17.0	47.2	25.1	2.5	1.7	-	6.4
70歳以上	431	14.6	44.8	21.3	3.7	0.5	-	15.1
婚姻状況								
未婚	343	31.8	38.2	18.7	3.2	0.6	0.3	7.3
既婚	949	21.2	45.3	22.1	3.4	0.7	-	7.3
その他	210	26.2	40.5	17.6	2.9	1.4	-	11.4
お住まいの場所								
高知市	715	25.5	41.1	20.7	3.5	1.3	0.1	7.8
安芸広域圏	83	21.7	41.0	22.9	8.4	-	-	6.0
南国・香美広域圏	245	19.6	50.6	20.4	1.6	1.2	-	6.5
嶺北広域圏	25	20.0	44.0	24.0	4.0	-	-	8.0
仁淀川広域圏	118	28.8	42.4	20.3	2.5	-	-	5.9
高吾北広域圏	38	15.8	47.4	26.3	2.6	-	-	7.9
高幡広域圏	106	22.6	45.3	17.9	2.8	-	-	11.3
幡多広域圏	178	28.7	38.2	20.2	2.8	-	-	10.1

(★問14×問13副問1のクロス分析)

行った寄附の内容との関係を見ると、街頭募金、設置されている募金箱、直接手渡し、寄附付き商品の購入、クレジットカード等の利用、その他は「500円～1,000円未満」、ふるさと納税、銀行・コンビニ等での振込、口座引き落とし、現物寄附、ボランティア・プロボノによる寄附は「1,000円～5,000円未満」がそれぞれ最も多くなっている。

図 NPOに寄附をしやすい金額（1回あたり） -行った寄附の内容との関係-



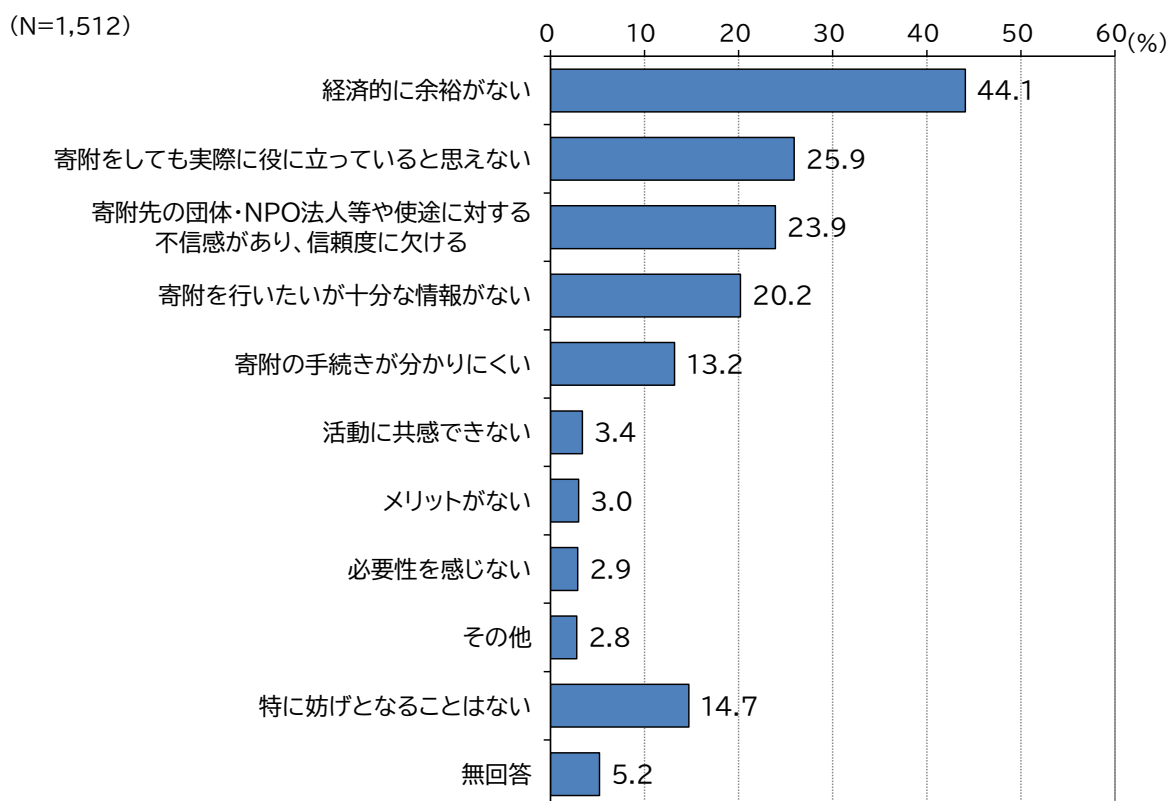
問15 寄附をするにあたり妨げとなること

あなたが寄附をするにあたって、何か妨げとなることはありますか。(当てはまるものすべてに○印)

全体では、「経済的に余裕がない」(44.1%)が最も多く、次いで「寄附をしても実際に役に立っていると思えない」(25.9%)、「寄附先の団体・NPO法人等や用途に対する不信感があり、信頼度に欠ける」(23.9%)、「寄附を行いたい十分な情報がない」(20.2%)となっている。

また、「その他」の主だった意見は、「寄附したお金の用途目的が明瞭ではなく収支報告がないため」、「NPOのことをよく理解していないためお金の流れがわからないから」、「手続きがめんどろでないこと、簡単なことが大切」などとなっている。

図 寄附をするにあたり妨げとなること



性別にみると、すべての性別で「経済的に余裕がない」が最も多く、特にその他は 80.0%と多くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「経済的に余裕がない」が最も多く、特に 30 歳代以下は 5割以上と多くなっている。

婚姻状況別にみると、すべての婚姻状況で「経済的に余裕がない」が最も多く、特に未婚は 51.3%と多くなっている。

居住地別にみると、すべての居住地で「経済的に余裕がない」が最も多く、特に仁淀川広域圏は 49.2%と多くなっている。

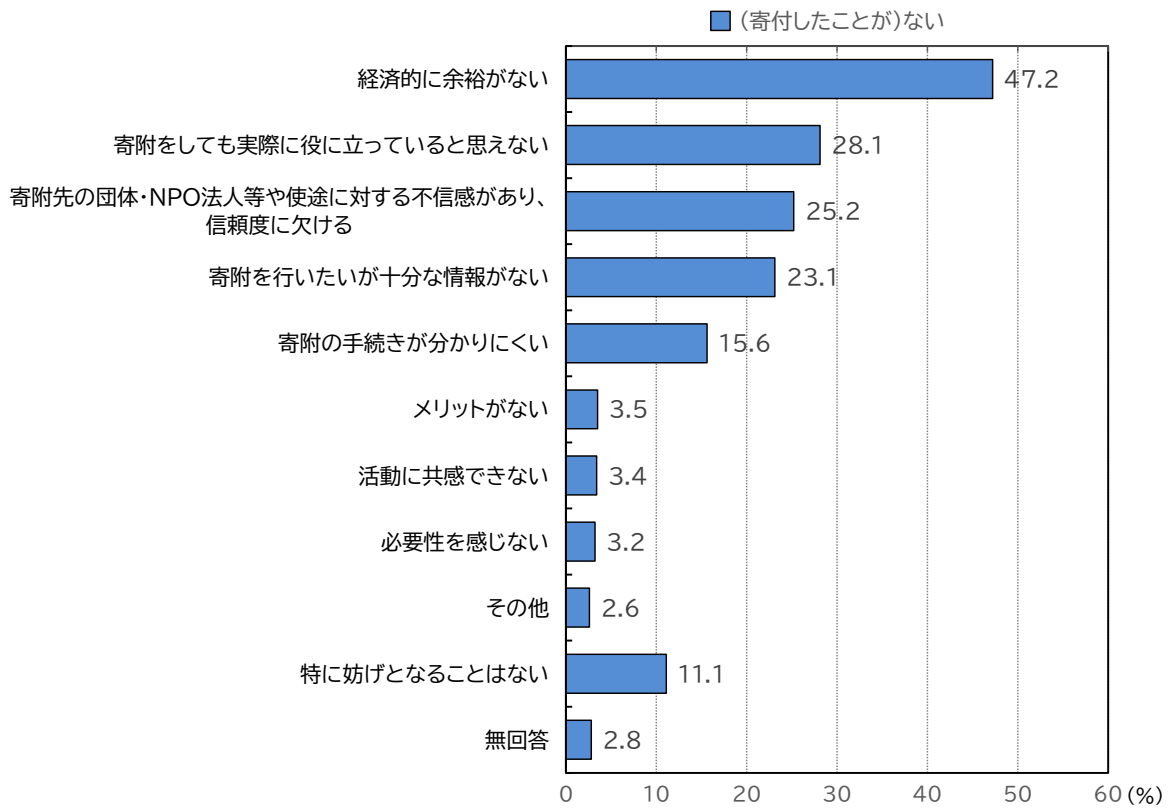
表 寄附をするにあたり妨げとなること

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	無回答	
		経済的に余裕がない	え寄附をしても実際に役に立っていると思	す寄附先の団体・NPO法人等や使途に対	寄附を行いたいが十分な情報がない	寄附の手続きが分かりにくい	活動に共感できない	メリットがない	必要性を感じない	その他	特に妨げとなることはない		
1位 2位	全体	1,512	44.1	25.9	23.9	20.2	13.2	3.4	3.0	2.9	2.8	14.7	5.2
性別	男性	626	43.8	28.8	27.3	23.2	14.4	4.0	4.8	3.5	2.6	14.4	3.0
	女性	877	44.4	23.7	21.4	18.1	12.4	3.0	1.6	2.4	3.0	14.8	6.7
	その他	5	80.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	-	-	-
年代	10歳代	22	59.1	31.8	9.1	31.8	9.1	-	9.1	-	4.5	4.5	-
	20歳代	84	56.0	25.0	22.6	27.4	17.9	4.8	8.3	6.0	-	10.7	2.4
	30歳代	138	52.9	31.2	24.6	21.7	13.8	3.6	8.0	4.3	3.6	10.9	2.9
	40歳代	212	45.8	35.4	34.0	20.8	15.1	6.6	4.7	4.7	1.9	10.8	1.4
	50歳代	265	41.9	26.8	27.5	24.9	17.4	3.4	2.3	2.3	1.5	11.7	3.8
	60歳代	358	36.6	23.7	26.0	21.8	14.0	2.0	2.5	1.7	3.9	18.2	3.4
	70歳以上	431	45.2	20.6	15.8	13.2	8.4	3.0	0.2	2.6	3.2	18.1	10.9
婚姻状況	未婚	343	51.3	25.1	23.3	22.2	17.8	4.1	6.4	3.8	1.5	9.6	4.1
	既婚	949	40.5	27.3	25.1	20.7	12.5	3.6	2.2	3.0	3.4	16.1	4.6
	その他	210	48.1	21.4	19.5	15.2	9.5	1.9	1.4	1.4	2.4	16.7	9.5
お住まいの場所	高知市	715	45.2	26.9	25.9	20.6	14.5	3.8	3.5	3.2	3.2	13.1	4.6
	安芸広域圏	83	41.0	22.9	25.3	21.7	10.8	4.8	2.4	3.6	1.2	19.3	4.8
	南国・香美広域圏	245	40.8	27.8	22.9	24.9	10.6	2.9	3.3	3.3	3.3	13.9	6.1
	嶺北広域圏	25	48.0	32.0	24.0	16.0	4.0	-	-	-	-	20.0	4.0
	仁淀川広域圏	118	49.2	22.9	22.0	14.4	15.3	2.5	2.5	1.7	2.5	16.9	3.4
	高吾北広域圏	38	36.8	31.6	23.7	18.4	26.3	2.6	7.9	2.6	-	7.9	10.5
	高幡広域圏	106	42.5	23.6	25.5	18.9	6.6	1.9	-	0.9	3.8	16.0	7.5
幡多広域圏	178	44.9	22.5	18.0	16.9	13.5	4.5	2.8	3.4	1.7	18.5	5.1	

(★問15×問13のクロス分析)

(令和4年内に) NPO寄附をしたことがないと回答した方との関係を見ると、「経済的に余裕がない」(47.2%) が最も多く、次いで「寄附をして実際に役に立っていると思えない」(28.1%)、「寄附先の団体・NPO法人等や用途に対する不信感があり、信頼度に欠ける」(25.2%) となっている。

図 寄附をするにあたり妨げとなること
 - (令和4年内に) NPOへしたことがないと回答した方との関係 -



第3章 資料

1. 単純集計表

Q1 性別(1つだけ○印)

	(1)	(2)	(3)	
調査数	男性	女性	その他	無回答
1,512	626	877	5	4
100.0	41.4	58.0	0.3	0.3

【表の見方】
 上段=回答数(人)
 下段=比率(%)
 網掛け=

1位
2位

Q2 年代(1つだけ○印)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	
調査数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1,512	22	84	138	212	265	358	431	2
100.0	1.5	5.6	9.1	14.0	17.5	23.7	28.5	0.1

Q3 職業(1つだけ○印)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	
調査数	農林業	漁業	自営 商工サー ビス業	事務職	技術職	労務職	管理職	自由業	主婦・主夫	学生	無職	その他	無回答
1,512	80	7	83	166	189	161	55	25	181	40	363	153	9
100.0	5.3	0.5	5.5	11.0	12.5	10.6	3.6	1.7	12.0	2.6	24.0	10.1	0.6

Q4 婚姻状況(1つだけ○印)

	(1)	(2)	(3)	
調査数	未婚	既婚	死 別 他 含 む (離 別 ・)	無回答
1,512	343	949	210	10
100.0	22.7	62.8	13.9	0.7

Q5 子どもの状況(同居・別居問わず)(当てはまるものすべてに○印)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	
調査数	就学前の子 どもが いる	小・中 学 生 の 子 ども が いる	高 校 生 の 子 ども が いる	大 学 生 、 専 門 学 校 生 等 が いる	子 ども は 成 人 し て い る	そ の 他	子 ども は い な い	無回答
1,512	81	144	90	86	800	34	413	17
100.0	5.4	9.5	6.0	5.7	52.9	2.2	27.3	1.1

Q6 お住まいの場所(広域市町村圏)(1つだけ○印)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	
調査数	高知市	安芸広 域 圏	南国・ 香美 広 域 圏	嶺北 広 域 圏	仁淀川 広 域 圏	高吾 北 広 域 圏	高幡 広 域 圏	幡多 広 域 圏	無回答
1,512	715	83	245	25	118	38	106	178	4
100.0	47.3	5.5	16.2	1.7	7.8	2.5	7.0	11.8	0.3

○ 食品ロス削減についてお尋ねします。

問1 あなたは「食品ロス」が問題になっていることを知っていますか。(1つだけ○印)

	(1)	(2)	(3)	(4)	
調査数	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	まったく知らない	無回答
1,512 100.0	379 25.1	941 62.2	125 8.3	18 1.2	49 3.2

問2 あなたは、「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。(当てはまるものすべてに○印)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	
調査数	料理を作り過ぎない	残さずに食べる	替残った料理を別の料理に作り（残りメイイクする）	冷凍保存を活用する	日頃から冷蔵庫等の食材の種	食に捨てるのか判断する、自分で	賞味期限を過ぎてもすぐ	賞味期限を過ぎてもすぐ	賞味期限を過ぎてもすぐ	賞味期限を過ぎてもすぐ	賞味期限を過ぎてもすぐ	賞味期限を過ぎてもすぐ	賞味期限を過ぎてもすぐ	賞味期限を過ぎてもすぐ	無回答
1,512 100.0	659 43.6	1,031 68.2	356 23.5	871 57.6	522 34.5	1,029 68.1	460 30.4	234 15.5	609 40.3	490 32.4	103 6.8	23 1.5	42 2.8	34 2.2	31 2.1

問3 あなたは、賞味期限と消費期限の違いを知っていましたか。(当てはまるもの1つに○印)

	(1)	(2)	(3)	
調査数	知っていた	言葉は知らなかったが違	知らなかった	無回答
1,512 100.0	1,239 81.9	205 13.6	30 2.0	38 2.5

問4 あなたは、「フードバンク活動」や「フードドライブ活動」を知っていましたか。(当てはまるもの1つに○印)

	(1)	(2)	(3)	(4)	
調査数	フードバンクとドライブ活動を知っていた	フードバンクとドライブ活動を知っていた	フードバンクとドライブ活動を知っていた	フードバンクとドライブ活動を知っていた	無回答
1,512 100.0	205 13.6	552 36.5	62 4.1	647 42.8	46 3.0

問5 フードバンク等へ食品を寄附する妨げとなっている理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○印)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	
調査数	取寄組自体を受け付けていない	倒閉して行く間がかかり、面倒	食品を集めておくことが面倒	場所を知らない	近隣に寄附がない	寄附できる食品が家庭にない	食品の寄附自体に抵抗がある	その他	無回答
1,512 100.0	536 35.4	401 26.5	226 14.9	778 51.5	358 23.7	576 38.1	65 4.3	54 3.6	38 2.5

○ 社会貢献活動についてお尋ねします。(関心度)

問6 あなたは、ボランティア活動に関心がありますか。(当てはまるもの1つに○印)

調査数	(1)	(2)	無回答
	関心がある	関心がない	
1,512 100.0	766 50.7	705 46.6	41 2.7

問7 あなたは、NPO法人や市民活動団体、ボランティア団体などに「会員」(又は「役員」)として加入していますか。(当てはまるもの1つに○印)

調査数	(1)	(2)	(3)	無回答
	現在、加入している	過去に加入していた	はこれまでに加入したこと	
1,512 100.0	84 5.6	59 3.9	1,353 89.5	16 1.1

問8 あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。(当てはまるもの1つに○印)

調査数	(1)	(2)	無回答
	参加したことがある	参加したことがない	
1,512 100.0	540 35.7	952 63.0	20 1.3

問8で「1 参加したことがある」と回答した方にお聞きします。

問8-副問1 あなたは、昨年一年間(令和4年1月～12月)にボランティア活動に参加したことがありますか。(当てはまるもの1つに○印)

調査数	(1)	(2)	無回答
	ある	ない	
540 100.0	197 36.5	315 58.3	28 5.2

問8-副問1で「1 ある」と回答した方にお聞きします。

問8-副問2 昨年一年間(令和4年1月～12月)に何回ほど活動しましたか。(当てはまるもの1つに○印)

調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答
	1回のみのみ	2～5回	6～10回	11回以上	
197 100.0	45 22.8	108 54.8	11 5.6	31 15.7	2 1.0

問8-副問1で「1 ある」と回答した方にお聞きします。

問8-副問3 どのような分野の活動に参加しましたか。(当てはまるものすべてに○印)

調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	無回答
	保健・医療・福祉	教育・研究	しまちづくり・まちおこ	芸術・文化・スポーツ	自然・環境保全	災害救助支援	地域安全	人権・平和	国際協力・交流	子ども・青少年育成	町内会等の清掃活動	その他	
197 100.0	24 12.2	18 9.1	40 20.3	28 14.2	37 18.8	11 5.6	36 18.3	5 2.5	2 1.0	26 13.2	124 62.9	15 7.6	2 1.0

問8-副問1で「1 ある」と回答した方にお聞きします。

問8-副問4 ボランティア活動に参加した理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○印)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
調査数	つなごうや自らの成長に 自己啓発や考えるため	社会の役に立ちたいから	職場の取組の一環で	め知人や同僚などからの勧め	自分や家族が関係している活動への支援	社会的に評価されるため	題の解決に必要なた社会問	自分が抱えている社会問	その他	無回答
197 100.0	44 22.3	99 50.3	38 19.3	32 16.2	56 28.4	3 1.5	15 7.6	16 8.1	3 1.5	

問8-副問1で「1 ある」と回答した方にお聞きします。

問8-副問5 ボランティア活動に参加した直接的なきっかけは何ですか。(当てはまるものすべてに○印)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	
調査数	自分の自発的な意思で	家族や親戚に勧められて	友人や知人に勧められて	学校で参加する機会を与えられて	自治会や子ども会など地域の団体で参加する機会が与えられて	ボランティアに関する研修会、講習会、行事、催し物などに参加して	職場で参加する機会を与えられて	新聞、雑誌、ポスターなどの広告を見て	ホームページやSNSの情報を見て	高知県ボランティア・NPO・セクターの情報システム「こうちボランティアネットワーク」を見て	その他	無回答
197 100.0	99 50.3	10 5.1	34 17.3	15 7.6	76 38.6	22 11.2	30 15.2	1 0.5	4 2.0	1 0.5	7 3.6	3 1.5

問9 ボランティア募集情報などを掲載している情報サイト「こうちボランティアNPO・情報システム『ピッピネット』」を知っていますか。(当てはまるもの1つに○印)

	(1)	(2)	
調査数	知っている	知らない	無回答
1,512 100.0	55 3.6	1,412 93.4	45 3.0

問10 ボランティア活動への参加の妨げとなることがあれば、それはどのようなことですか。(当てはまるものすべてに○印)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	
調査数	なボランティア活動に関する十分な知識・情報がない	の参加負担	る参加しても実際に役に立っていない	等ボランティアを受け入れる団体等に不信感がある	に参加するための手続きが分かりにくい	参加する時間がない	い参加するための休暇を取りにくい	一緒に参加する人がいない	参加する際の保険が不十分	ボランティア活動に興味がない	参加のきっかけがない	近隣に活動の場がない	その他	特に妨げとなることはない	無回答
1,512 100.0	684 45.2	266 17.6	82 5.4	89 5.9	280 18.5	637 42.1	301 19.9	216 14.3	46 3.0	160 10.6	424 28.0	178 11.8	135 8.9	79 5.2	68 4.5

問12 あなたは、社会にとってNPO(NPO法人、市民活動団体、ボランティア団体)は必要だと思いますか。(当てはまるもの1つに○印)

	(1)	(2)	(3)	
調査数	必要だと思う	特に必要とは思わない	どちらとも言えない	無回答
1,512 100.0	878 58.1	75 5.0	486 32.1	73 4.8

問12の回答で「1. 必要だと思う」と回答した方にお聞きします。

問12-副問1 あなたが、NPO(NPO法人、市民活動団体、ボランティア団体)に求めるサービスはどんなことですか。(サービス提供を希望する分野を選択)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	
調査数	保健・医療・福祉	教育・研究	まちづくり・まちおこし	芸術・文化・スポーツ	自然・環境保全	災害救助支援	地域安全	人権・平和	国際協力・交流	子ども・青少年育成	町内会等の清掃活動	その他	特にない	無回答
878 100.0	371 42.3	177 20.2	266 30.3	127 14.5	310 35.3	348 39.6	238 27.1	115 13.1	99 11.3	267 30.4	200 22.8	38 4.3	81 9.2	60 6.8

寄附について

問13 あなたは、昨年一年間(令和4年1月～12月)にNPO(NPO法人、市民活動団体、ボランティア団体)に寄附をしたことがありますか。(当てはまるもの1つに○印)

	(1)	(2)	
調査数	ある	ない	無回答
1,512 100.0	275 18.2	1,170 77.4	67 4.4

問13で「1. ある」と回答した方にお聞きします。

問13-副問1 あなたが行った寄附はどのようなものですか。(当てはまるものすべてに○印)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	
調査数	街頭募金	（設置された街頭募金を除く。金箱）	直接手渡し	寄附付き商品の購入	ふるさと納税	クラウドファンディング	込銀行・口座引き落とし等の振	用クレジットカード等の利用を含む。電子マネー	給料からの天引き	等現物寄附（品物の郵送）	にボランティア・プロボノ	その他	無回答
275 100.0	71 25.8	100 36.4	49 17.8	48 17.5	40 14.5	17 6.2	46 16.7	27 9.8	3 1.1	14 5.1	8 2.9	30 10.9	4 1.5

問13-副問2 あなたが寄附をしたNPO(NPO法人、市民活動団体、ボランティア団体)は、どのような活動分野の団体ですか。(当てはまるものすべてに○印)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	
調査数	保健・医療・福祉	教育・研究	まちづくり・まちおこし	芸術・文化・スポーツ	自然・環境保全	災害救助支援	地域安全	人権・平和	国際協力・交流	子ども・青少年育成	町内会等の清掃活動	その他	無回答
275 100.0	78 28.4	21 7.6	57 20.7	18 6.5	32 11.6	89 32.4	12 4.4	26 9.5	39 14.2	40 14.5	31 11.3	28 10.2	9 3.3

問13で「1. ある」と回答した方にお聞きします。

問13-副問3 あなたがNPO(NPO法人、市民活動団体、ボランティア団体)に寄附をした理由は、何ですか。(当てはまるものすべてに○印)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	
調査数	つなごうが啓発や自らの成長に	思ったの役に立ちたいと	一町内会や自治会の活動の	職場の取組の一環で	め知人や同僚などからの勸	る自分や家族が関係してい	社会的に評価されるため	題自分の解決に必要だから	が所得税が軽減される制度	その他	無回答
275 100.0	30 10.9	159 57.8	75 27.3	22 8.0	15 5.5	33 12.0	5 1.8	15 5.5	22 8.0	22 8.0	10 3.6

問14 あなたがNPO(NPO法人、市民活動団体、ボランティア団体)に寄附をしやすい金額は、1回あたり、いくらくらいまでですか。(当てはまるものに○印)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	
調査数	500 円未満	15,000 円未満	51,000 円未満	150,000 円未満	110,000 円未満	100,000 円以上	無回答
	1,512 100.0	369 24.4	648 42.9	312 20.6	49 3.2	12 0.8	1 0.1
							121 8.0

問15 あなたが寄附をするにあたって、何か妨げとなることはありますか。(当てはまるものすべてに○印)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)		
調査数	が寄附を行いたいが十分な情報がない	経済的に余裕がない	て寄附をしても実際役に立つと思えない	り、使途に欠ける不信感がある	寄附先の団体・NPO法人等	寄附の手続きが分かりにくい	メリツトがない	必要性を感じない	活動に共感できない	その他	特に妨げとなることはない	無回答
	1,512 100.0	305 20.2	667 44.1	391 25.9	362 23.9	200 13.2	46 3.0	44 2.9	52 3.4	42 2.8	222 14.7	79 5.2

2. 調査票

食品ロス削減及び社会貢献活動に関する県民意識調査



○最初に、あなたご自身のことについてお尋ねします。

- Q. 1 性別 (1つだけ○印)
- 1 男性 2 女性 3 その他
- Q. 2 年代 (1つだけ○印)
- 1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代
- 5 50歳代 6 60歳代 7 70歳以上
- Q. 3 職業 (1つだけ○印)
- 1 農林業 (主婦・主夫の場合は、家庭内の仕事と田畑、漁業に出る時間と比較して多い方を選択)
- 2 漁業
- 3 商工サービス業自営 (商店や工場などを自分でやっている人、家族従業員を含む)
- 4 事務職 (勤め人や公務員で主に事務系の仕事の人の、課長以上を除く)
- 5 技術職 (主に技術系の仕事の人の、看護師、保育士、教員など、課長以上を除く)
- 6 労務職 (現職従業者、工具、運転手、店員、日雇い、大工など)
- 7 管理職 (勤め人・公務員で課長以上の場合、校長・教頭など)
- 8 自由業 (医師、弁護士、画家、僧侶など)
- 9 主婦・主夫 (家庭内の仕事で最も多い場合)
- 10 学生 (高校、短大、大学、その他の学校在学中)
- 11 無職 (年金などで生活しているか、自分の収入がなく、又は働いていない場合)
- 12 その他 (上のいずれにも属さないもの) ()

- Q. 4 婚姻状況 (1つだけ○印)
- 1 未婚 2 既婚 3 その他 (離別・死別含む)
- Q. 5 子どもの状況 (同居・別居に関わらずお答えください。)(当てはまるものすべてに○印)
- 1 就学前の子どもがいる 2 小・中学生の子どもがいる
- 3 高校生の子どものいる 4 大学生、専門学校生等の子どもがいる
- 5 子どもは成人している (「3・4」を除く) 6 その他
- 7 子どもはいない

- Q. 6 お住まいの場所 (広域市町村圏) (1つだけ○印)
- 1 高知市
- 2 安芸広域圏……………室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村
- 3 南国・香美広域圏……………南国市、香南市、香美市
- 4 嶺北広域圏……………本山町、大豊町、土佐町、大川村
- 5 仁淀川広域圏……………土佐市、いの町、日高村
- 6 高岳・北広域圏……………佐川町、越知町、仁淀川町
- 7 高幡広域圏……………須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町
- 8 幡多広域圏……………宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町

○食品ロス削減についてお尋ねします。

問1 あなたは「食品ロス※」が問題になっていることを知っていますか。(1つだけ○印)

※食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことです。

- 1 よく知っている 2 ある程度知っている 3 あまり知らない 4 まったく知らない
- 問2 あなたは、「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。(当てはまるものすべてに○印)

- 1 料理を作り過ぎない
- 2 残さずに食べる
- 3 残った料理を別の料理に作り替える (リメイクする)
- 4 冷凍保存を活用する
- 5 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する
- 6 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるかを判断する
- 7 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する
- 8 商品棚の手前に並ぶ賞味期限の近い商品を購入する
- 9 期限間近による値引き商品やポイント還元の商品を優先して選ぶ
- 10 飲食店等で注文し過ぎない
- 11 外出時には、小盛りメニュー等希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ
- 12 食べない食品や利用しない食材等をフードバンクや子ども食堂等に寄附をする
- 13 その他 ()
- 14 取り組んでいることはない

問3 あなたは、賞味期限と消費期限の違いを知っていますか。(当てはまるもの1つに○印)

- 1 知っていた 2 言葉は知っていたが違いは知らなかった 3 知らなかった

「賞味期限」とは
おいしく食べることができる期限のこと。菓子、カップ麺、缶詰など比較的食べられなくなるまでの期間が長いものに表示。

「消費期限」とは
過ぎたら食べない方がよい期限のこと。弁当、サンドイッチ、惣菜など比較的食べられなくなるまでの期間が短いものに表示。

問4 あなたは、「フードバンク活動」や「フードドライブ活動」を知っていましたか。(当てはまるもの1つに○印)

- 1 フードバンク、フードドライブとも知っていた
- 2 フードバンクは知っていたが、フードドライブは知らなかった
- 3 フードドライブは知っていたが、フードバンクは知らなかった
- 4 フードバンク、フードドライブとも知らなかった

「フードバンク活動」とは
食品事業者や農家などから生産・流通等の過程で生じる未利用食品の寄附を受けて、必要としている施設等に無償で提供する活動。
「フードドライブ活動」とは
家庭などで余っている食品を高附等を集め、フードバンク関連支援団体を通じて、支援が必要な方々に届ける活動。

問5 フードバンク等へ食品を寄附する妨げとなっている理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○印)

- 1 寄附を受け付けているという取組自体を知らなかった
- 2 持って行く手間がかかり、面倒
- 3 寄附するまで、必要としない食品を集めておくことが面倒
- 4 寄附を受け付けている団体・場所を知らない
- 5 近隣に寄附を受け付けている団体・場所がない
- 6 寄附できる食品が家庭にない
- 7 食品の寄附自体に抵抗がある
- 8 その他 ()

○社会貢献活動についてお尋ねします。

「ボランティア活動」とは
この調査では、「社会貢献活動」全般をさすものとして使用しています。
営利を目的とせず、自らの意思で、社会がより良くなるよう公の利益のために行う活動（宗教や政治、取組に関する活動を除く。）のことを言います。有償・無償は問いません。
例：募金への協力、海岸清掃活動、交通安全啓発活動、NPO法人の活動参加、災害ボランティアなど

関心度

問6 あなたは、ボランティア活動に関心がありますか。(当てはまるもの1つに○印)

- 1 関心がある
- 2 関心はない

問7 あなたは、NPO法人*や市民活動団体、ボランティア団体などに「会員」(又は「役員」として加入していますか。(当てはまるもの1つに○印)

*NPO法人とは、特定非営利活動法人とも言われ、利益を分配せずに活動する団体(NPO)のうち、法人として活動する団体のことを言います。

- 1 現在、加入している
- 2 過去に加入していた
- 3 これまで加入したことはない

問8 あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。(当てはまるもの1つに○印)

- 1 参加したことがある
- 2 参加したことはない

副問1 (問8で「1 参加したことがある」と回答したことがある)と回答した方にお聞きします。
あなたは、昨年一年間(令和4年1月～12月)にボランティア活動に参加したことがありますか。(当てはまるもの1つに○印)

- 1 ある
- 2 ない

副問2 (副問1で「1 ある」と回答した方にお聞きします。
昨年一年間(令和4年1月～12月)に何回ほど活動しましたか。(当てはまるもの1つに○印)

- 1 1回のみ
- 2 2～5回
- 3 6～10回
- 4 11回以上

副問3 (副問1で「1 ある」と回答した方にお聞きします。
どのような分野の活動に参加しましたか。(当てはまるものすべてに○印)

- 1 保健・医療・福祉
- 2 教育・研究
- 3 まちづくり・まちおこし
- 4 芸術・文化・スポーツ
- 5 自然・環境保全
- 6 災害救助支援
- 7 地域安全
- 8 人権・平和
- 9 国際協力・交流
- 10 子ども・青少年育成
- 11 町内会等の清掃活動
- 12 その他 ()

副問4 (副問1で「1 ある」と回答した方にお聞きします。
ボランティア活動に参加した理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○印)

- 1 自己啓発や自らの成長につながるかと考えるため
- 2 社会の役に立ちたいから
- 3 職場の取組の一環で
- 4 知人や同僚などからの勧め
- 5 自分や家族が関係している活動への支援
- 6 社会的に評価されるため
- 7 自分が抱えている社会問題の解決に必要なため
- 8 その他 ()

副問5 (副問1で「1. ある」と回答した方にお問します) ボランティア活動に参加した直接的なきっかけは何ですか。(当てはまるものすべてに○印)

- 1 自分の自発的な意思で
- 2 家族や親戚に勧められて
- 3 友人や知人に勧められて
- 4 学校で参加する機会を与えられて
- 5 自治会や子ども会など地域の団体に参加する機会が与えられて
- 6 ボランティアに関する研修会、講習会、行事、催し物などに参加して
- 7 職場で参加する機会を与えられて
- 8 新聞、雑誌、ポスターなどの広告を見て
- 9 ホームページやSNSの投稿を見て
- 10 高知県ボランティア・NPOセンターの情報サイト「こちらボランティアNPO・情報システム『ビビビネット』」を見て
- 11 その他 ()

問9 ボランティア募集情報などを掲載している情報サイト「こちらボランティアNPO・情報システム『ビビビネット』」を知っていますか。(当てはまるもの1つに○印)



- 1 知っている
- 2 知らない

問10 ボランティア活動への参加の妨げとなることがあれば、それはどのようなことですか。(当てはまるものすべてに○印)

- 1 ボランティア活動に関する十分な知識・情報がない
- 2 参加する際の経費 (交通費等) の負担
- 3 参加しても報酬に役に立っていないと思えない
- 4 ボランティアを交け入れる団体等に不信感がある
- 5 参加するための手続きが分かりにくい
- 6 参加する時間がない
- 7 参加するための休暇を取りにくい
- 8 一緒に参加する人がいない
- 9 参加する際の保険が不十分
- 10 ボランティア活動に興味がない
- 11 参加のきっかけがない
- 12 近所に活動の場がない
- 13 その他 ()
- 14 特に妨げとなることはない

問11 あなたは、NPO (NPO法人、市民活動団体、ボランティア団体) にどのようなイメージを持っていますか。(自由記載)

問12 あなたは、社畜にとどつてNPO (NPO法人、市民活動団体、ボランティア団体) は必要だと思えますか。(当てはまるもの1つに○印)

- 1 必要だと思う
- 2 特に必要とは思わない
- 3 どちらとも言えない

副問1 (問12の回答で「1. 必要だと思う」と回答した方にお問します)

あなたが、NPO (NPO法人、市民活動団体、ボランティア団体) に求めるサービスはどのようなことですか。(サービス提供を希望する分野を選択し、() 内にサービス内容を記載) (当てはまるものすべてに記載)

- 1 保健・医療・福祉/内容 ()
* 内務例＝高齢者・障害者サービス、介護サービスの提供、商品の情報提供 など
- 2 教育・研究/内容 ()
* 内務例＝授業や教育、ワークショップ、市民大学など
- 3 まちづくり、まちおこし/内容 ()
* 内務例＝町並み保存、商店街の活性化、お祭などの地域伝統文化の継承 など
- 4 芸術・文化・スポーツ/内容 ()
* 内務例＝文化の継承、演奏、スポーツ大会やスポーツ教室の運営 など
- 5 自然・環境保全/内容 ()
* 内務例＝森林保全、河川の浄化、リサイクル運動、芸術活動の促進 など
- 6 災害救助支援/内容 ()
* 内務例＝地震や台風、火災などの被災者の支援 など
- 7 地域安全/内容 ()
* 内務例＝犯罪・事故の予防、犯罪・事故被害者への援助、交通安全、地域の防犯 など
- 8 人権・平和/内容 ()
* 内務例＝人権擁護、戦争の防止、平和推進 など
- 9 国際協力/支援/内容 ()
* 内務例＝難民支援、留学生支援、国際交流 など
- 10 子ども・青少年育成/内容 ()
* 内務例＝こども知識、児童虐待防止、児童相談、児童心の伝承 など
- 11 町内会等の活動/内容 ()
- 12 その他 ()
- 13 特にない

寄附について

「寄附」とは
この調査では、寄附をする人が、寄附をするかしないかやその金額、品物などを自由に決めることができるといいます。

問 1 3 あなたは、昨年一年間（令和 4 年 1 月～12 月）に NPO（NPO 法人、市民活動団体、ボランティア団体）に寄附をしたことがありますか。（当てはまるもの 1 つに○印）

- 1 ある 2 ない →問 1 4 へお進みください。

副問 1（問 13 の回答で「1 ある」と回答した方にお聞きします。）
あなたが行った寄附はどのようなものですか。（当てはまるものすべてに○印）

- 1 街頭募金
- 2 設置されている募金箱（街頭募金を除く。）
- 3 直接手渡し
- 4 寄附付き商品の購入
- 5 ふるさと納税
- 6 クラウドファンディング（※）
- 7 銀行・コンビニ等での振込、口座引き落とし
- 8 クレジットカード等の利用（ポイント・電子マネーの利用を含む。）
- 9 給料からの天引き
- 10 現物寄附（品物の郵送等）
- 11 ボランティア・プロボノ（※）による寄附
- 12 その他（ ）

※「クラウドファンディング」とは

新創・成長企業、団体、個人等と資金提供者をインターネット経由で結び付け、活動や事業に共感した多数の資金提供者から少額ずつ資金を集める仕組みのことです。

※「プロボノ」とは

本業で培ったスキルや専門知識を社会的・公共的な目的のために活かすボランティア活動のことです。ボランティアは自分の労力や時間を提供するのに対し、プロボノは時間と労力に加えて「専門知識」や「過去に培った経験」も提供する、という違いがあります。

副問 2（問 13 の回答で「1 ある」と回答した方にお聞きします。）

あなたが寄附をした NPO（NPO 法人、市民活動団体、ボランティア団体）は、どのような活動分野の団体ですか。（当てはまるものすべてに○印）

- 1 保健・医療・福祉
- 2 教育・研究
- 3 まちづくり、まちおこし
- 4 芸術・文化・スポーツ
- 5 自然・環境保全
- 6 災害救助支援
- 7 地域安全
- 8 人権・平和
- 9 国際協力・交流
- 10 子ども・青少年育成
- 11 町内会等の清掃活動
- 12 その他（ ）

副問 3（問 13 の回答で「1 ある」と回答した方にお聞きします。）

あなたが NPO（NPO 法人、市民活動団体、ボランティア団体）に寄附をした理由は、何ですか。（当てはまるものすべてに○印）

- 1 自己啓発や自らの成長につながるため
- 2 社会の役に立ちたいと思っただけ
- 3 町内会や自治会の活動の一環として
- 4 職場の取組の一環として
- 5 知人や同僚などからの勧め
- 6 自分や家族が関係している活動への支援
- 7 社会的に評価されるため
- 8 自分が抱えている社会問題の解決に必要だから
- 9 所得税が軽減される制度があるから
- 10 その他（ ）

問 1 4 あなたが NPO（NPO 法人、市民活動団体、ボランティア団体）に寄附をしやすい金額は、1 回あたり、いくらくらいまでですか。（当てはまるもの一つに○印）

- 1 500 円未満
- 2 500 円～1,000 円未満
- 3 1,000 円～5,000 円未満
- 4 5,000 円～10,000 円未満
- 5 10,000 円～100,000 円未満
- 6 100,000 円以上

問15 あなたが寄附をするにあたって、何か妨げとなることはありますか。(当てはまるものすべてに○印)

- 1 寄附を行いたい十分な情報がない
- 2 経済的に余裕がない
- 3 寄附をしても実際に役に立っていないと思えない
- 4 寄附先の団体・NPO法人等や使途に対する不信任があり、信頼度に欠ける
- 5 寄附の手続きが分かりにくい
- 6 メリットがない
- 7 必要性を感じない
- 8 活動に共感できない
- 9 その他 ()
- 10 特に妨げとなることはない

※ご協力ありがとうございました。

食品ロス削減及び社会貢献活動に関する

県民意識調査報告書

発行年月：令和5年10月

発行：(株)サーベイリサーチセンター四国事務所